

広報とめ

不思議！透明な水が
固まってきたよ

「株登米村田製作所実験コーナー『スライムを作るう』
～登米市産業フェスティバル（11/8・9）」



DECEMBER 2008

12

No.89

主な内容

- ◎ 特集「登米市地域医療の明日」
- ◎ 平成19年度決算報告
- ◎ 市職員給与などのあらまし
- ◎ 登米市成人式のお知らせ
- ◎ 9町トピックス
- ◎ 市民の広場
- ◎ 市からのお知らせ・暮らしの情報

特集

登米市地域医療の明日

平成16年度から新医師臨床研修制度が導入されたことを契機に、全国的に医師不足が大きな問題となっています。

県内の医師は大多数が県中心部に集中しており、それ以外の地域では医師が不足しています。国ではようやく医師数を増やす動きが見えてきましたが、医師不足は今すぐ解決できるものではありません。

登米市においても、医師不足によって平成18年以降佐沼病院での小児科や産婦人科が入院休止になるなど大変深刻な問題となっています。

現在、地域の基幹病院である市立佐沼病院をはじめとする市内の医師たちは、少ない人数で多くの患者を診察する過酷な労働環境におかれています。

今月の特集では、現在、医師不足や財政難といった大きな問題に直面している登米市地域医療の現状や問題と、それらの問題解決に向けて、地域の限られた医療資源（医師、看護師などの人材、医療施設）を効率的に最大限に生かす、市が目指すこれからの地域医療について紹介します。



1 医師不足

医師不足

病院での確保医師数の不足

- ・大病院の派遣医師の引き上げ
- ・過酷な労働条件（退職・開業する医師の増加）

地域偏在による不足

- ・医局人事による地方からの撤退
- ・医師の都会志向
- ・研修医制度の改正

医師の絶対数の不足

- ・OECD加盟国（※）の平均以下
 - ・医療費抑制策（医学部定数の削減）
- ※OECD（経済協力開発機構）日本を含む30カ国によって構成

特定の診療科に属する医師の需要不均衡による不足

- ・過酷な労働による、なり手不足
- ・医療事故などのトラブルに巻き込まれるリスクが高い

過酷な勤務状況など多くの要因が絡み合い
重度の医師不足地域になっている「登米市」

年々減少し続ける
市立病院の医師数

全国的に問題となっている医師不足の要因は、一つだけではありません。【図1】のように、医師の絶対数の不足、地域偏在による不足、病院での確保医師数の不足、診療科に属する医師の需給不均衡などによる不足など、たくさん要因がからみ合っています。医師不足が深刻化しています。

わたしたちの登米地域においても、平成13年4月時点で50人勤務していた医師が現在では40人となり【表1】、厳しい労働環境となっています。人口に対する医師の比率も近隣の医療圏と比較すると下回っており【表2】、特に米谷病院やよねやま病院においては、常勤医師が3人（歯科医師を除く）と、病院であるための最低基準の医師数となっています。通常の診療をした後、当直に従事し、宿直明けの翌日も通常の診療を行うという、1回の勤務時間が連続して32時間にもおよぶ過酷な勤務形態が、月に2回から5回程度あり、少ない医師で多くの仕事をこなさなければならぬ、実に過酷な勤務状況になっています。

さらに、研修医制度の改正により、大学側も医師の確保が必要になり、今まで派遣していた病院から医師の引き上げを行うようになりました。その結果、今まで派遣・応援に頼っていた市立病院においては医師が減少し、大きな影響が出ています。

【表1】登米市立病院医師数（歯科医4人を含む）

単位：人

医師数	佐沼病院	米谷病院	豊里病院	よねやま病院	登米診療所	上沼診療所	津山診療所	計
平成20年度	19	4	8	4	3	1	1	40
平成19年度	20	4	9	4	4	1	1	43
平成18年度	21	4	8	3	4	1	1	42
平成17年合併時	22	6	7	4	5	1	1	46

※平成18.19年度は年度末における人数。平成20年度は、10月1日現在

【表2】宮城県内の医療従事者比較

（平成18年度） 単位：人

区分	登米医療圏	栗原医療圏	大崎医療圏	石巻医療圏	仙台医療圏	宮城県	全国
医師数	94	102	321	310	3,719	4,915	277,927
人口10万人対	106.5	128.9	148.2	141.1	253.7	208.7	217.5
看護師数	407	458	981	990	9,459	13,739	811,972
人口10万人対	461.2	578.8	452.8	450.8	645.2	583.4	635.5
保健師数	50	45	119	62	428	832	40,191
人口10万人対	56.7	56.9	54.9	28.2	29.2	35.3	31.5

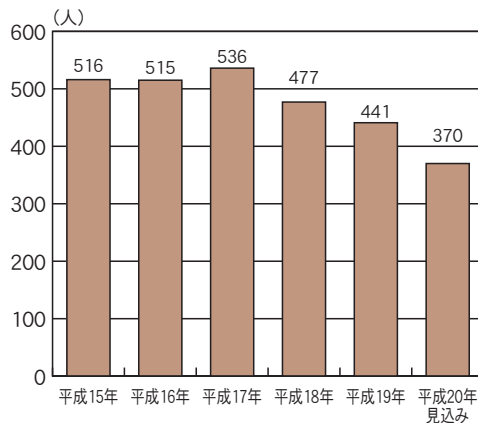
医師不足による入院患者の減少や 診療報酬改定などで低迷する病院財政

医療費抑制政策などで 減少する病院収入

市立病院の入院患者数は、常勤医師の減少やそれに伴う受け入れ診療科目の減少、耐震に問題のある施設の使用中止などの理由によつて年々減少しており、1日当たりの入院患者数は平成17年度の536人から平成19年度では441人、平成20年度（見込み）では370人と平成17年度と比べて1日当たり166人、年間で約6万人もの減少となっています【表3】。

国の医療費抑制施策として行われた診療報酬の改定により平成18年度には、診療報酬で1・36%、薬価で1・8%の減額改定が行われ、登米市ではこの改定分だけでも約3億円の医療収入が減少しています。また、診療初期の診療報酬額と、入院から2週間を過ぎた際の診療報酬の額についても改正され、その差がより大きくなりました。つまり、入院期間が長引けば長引くほど病院の収入が減り、病院経営がますます厳しくなる状況となっています。さらに、集中的に医療行為を必要

とする時期が過ぎ、退院できる状況になつても、さまざまな理由から、家庭での療養や福祉施設への入所が困難な患者（社会的入院患者）が約50人おり、病院経営上の課題の一つともなっています。



【表3】一日当たりの入院患者数の推移

累積赤字により財政再 建団体へ転落の恐れも

合併前の平成16年度は、5病院合わせての医療収支は、単年度約5億円の赤字でしたが、平成17年度は約6億円、18年度は約14億円、19年度では約15億円の赤字が発生しており、19年度では1日当たりに換算すると

【表4】平成19年度医療収支の状況

区分	佐沼病院	登米病院	米谷病院	豊里病院	よねやま病 院	計
入院収入	2,381	337	305	666	229	3,918
外来収入	1,736	375	557	745	545	3,958
その他	118	28	32	46	19	243
医療収入	4,235	740	894	1,457	793	8,119
人件費	2,422	502	551	802	469	4,746
材料費	1,449	206	307	429	261	2,652
減価償却費	244	21	31	82	36	414
経費	817	260	225	273	223	1,798
その他	12	2	2	4	1	21
医療費用	4,944	991	1,116	1,590	990	9,631
医療収支	▲709	▲251	▲222	▲133	▲197	▲1,512

※医療収支：病院の医療活動による収入から、要した費用を差し引いたもの

度末の累積赤字は100億円を超える見込みとなっています。市では毎年、病院事業に巨額の繰入金を出し、経営安定化に努めてきましたが、このままの病院経営を続けていくと、病院事業を支え切れなくなり、病院とともに市本体の財政破綻を招き、国の管理下に置かれる財政再建団体へと転落する恐れさえあります。

**病院健全化のため
明日からできること**

**病院を利用するときの
3つの心掛け**

- ① 医師の過酷な勤務状況を理解する
市立病院各科に常勤医師がいなくなるという「異常事態」を避けるためにも、医師が睡眠を取る間もなく働き続けているという現実を理解しましょう。
- ② かかりつけ医を持つ
日常の健康管理についても、気軽に相談できる「まちのお医者さん」を持ちましょう。
- ③ かかりつけ医は、入院や高度な治療が必要となった場合、適切な医療機関を紹介してくれる頼もしいパートナーとなります。

③ 受診は治療時間内に
軽症の場合は、診療時間内に受診することで、医師の負担を軽くすることができま

一人一人のわずかな「受診に対する心掛け」が、登米市の病院環境の健全化につながります。

3 医療再編

地域現状に合わせ登米市型の包括医療体制を構築

再編計画に基づき医療体制を改革

厳しい経営状態が続く中、昨年12月26日、市地域医療福祉体制検討委員会から「市立病院の再編計画報告書」が提出され、市では「安全・安心の医療提供」、「医師の労働環境の改善」、「安定した経営基盤の確立」を旨とした市立病院の再編・改革の基本方針が決まり、現在、この基本方針に基づき再編・改革に取り組んでいます。平成19年12月に国が示した公立病院改革ガイドラインに基づき、地域医療を確保しながら経営の建て直しと健全化を図るため、公立病院のあるべき姿とその役割を明確にした「病院改革プラン」の策定も同時に進めています。

具体的には、入院状況や病床の活用状況を分析し、平成20年には登米病院、平成23年度からは米谷病院とよねやま病院の診療所化を行い、病床数をこれまでの599床から327床に減少することとなり、入院については佐沼病院と豊里病院で対応していくこととなります。

新たな医師の確保については、医

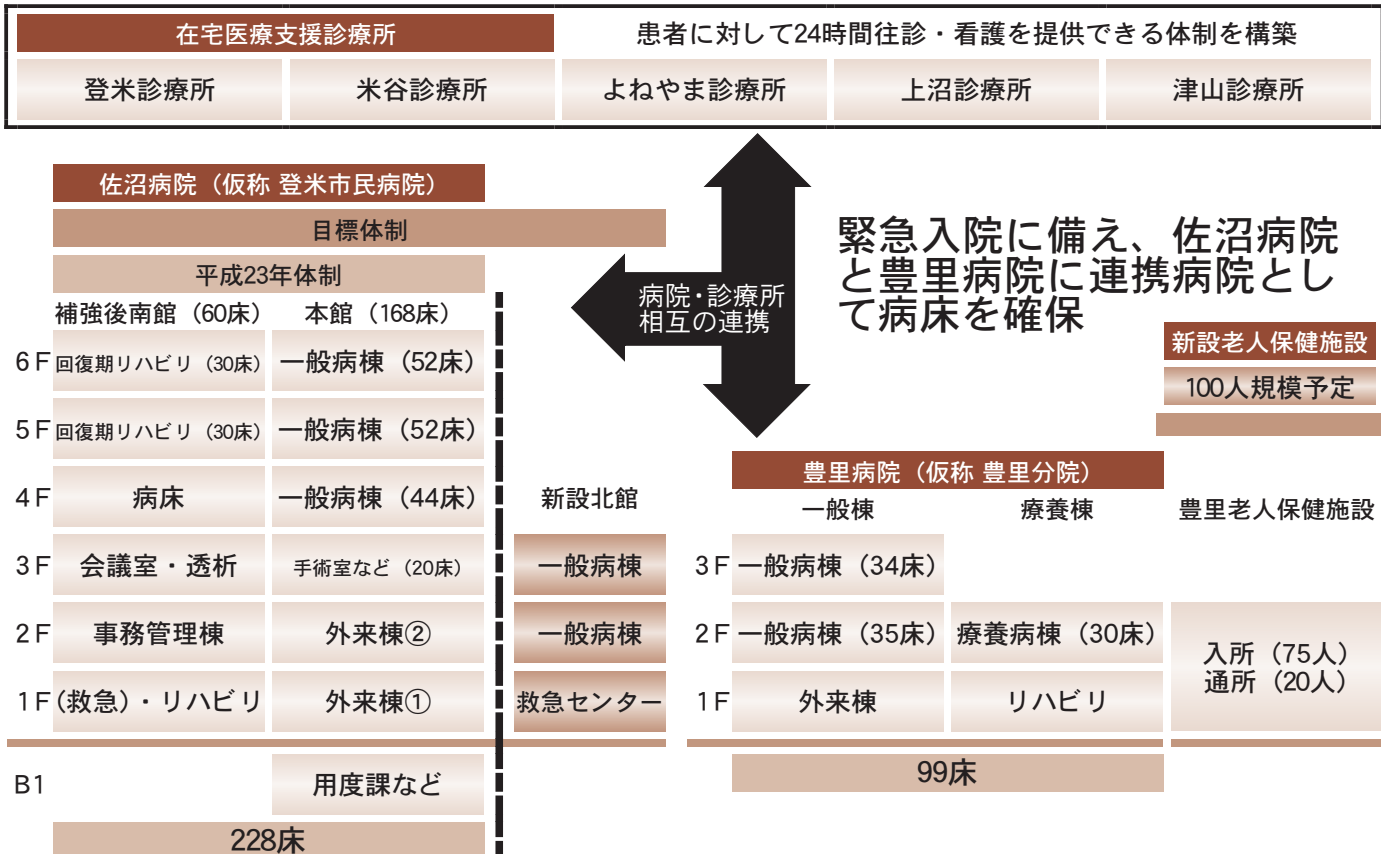
学生への奨学金制度を制定し、医師の確保に努めています。現在、5人が奨学金制度を利用しており、最短期間で平成23年には第1号の医師が市立病院に勤務する予定となっています。大学病院なども専門的な医療技術を必要とする脳外科や心臓外科など市内の病院で対処できない場合の受け入れ協力体制を強化するとともに、急性期治療を終えた患者の寝たきりの防止と、家庭復帰を目的とした回復期リハビリ病床を設置します。社会的入院などの患者についても、100床規模の老人保健施設の新設を検討しています。

できる限り住み慣れた地域や家庭で過ごしたいという在宅医療を希望される患者さんには、医師や看護師が往診する訪問診療の体制づくりの構築を目指しています。

今後、市では、保健師などが中心となって疾病予防や健康づくりを行う「保健」、病院や訪問診療・看護を中心とする「医療」、老人保健施設や特別養護老人ホームなどの「福祉」、在宅介護サービスなどの「介護」を総合的に組み合わせ、「登米市型の地域医療体制」を整えていきます。

●登米市の地域包括医療体制

【自宅での療養生活を、訪問などによって支援】



【南館に耐震補強実施、医療・財政の体制が整いしだい、北館新設】

4 市民との協力

数多く出された病院再編に 対する市民の皆さんの声

昨年12月に市地域医療福祉体制検討委員会から提出された「市立病院の再編計画報告書」に基づき、これまで協議を重ね検討してきた登米市の医療の再編・改革の方向性の説明と、地域医療の在り方を市民の皆さんとともに考えようと、11月10日から28日まで各町域で市民説明会を開催しました。参加された皆さんからの質問や意見などについてお伝えします。

医療体制の現状と 今後の方向性

説明会では会場ごとに、市長が「本年1月に市民の皆さんにご説明した市立病院の再編内容について、検証を重ね精査した結果をご説明するとともに、皆さんからの意見を頂きながら、これからの地域医療や介護、福祉などについても、病院、市民、行政が共に協力し、進めて行き



たい」と、あいさつを述べました。

説明会では、登米市が抱える厳しい医療の現状や改善に向けて今後の方向性などが説明されました。

説明会で寄せられた 参加者からの意見・質問

Q

在宅療養支援診療所は医師一人体制でも対応可能なのか？
市立病院では、医師一人体制の上沼診療所がすでに在宅療養支援診療所として24

時間の往診体制を取っています。登米診療所も12月から実施しますが、23年4月までは、現状の2人体制で対応します。その後の診療所体制は現在検討中ですが、一人体制では困難なこともありま

支援診療所との連携強化を図る必要があります。なお、往診に依ることができる対象患者は、訪問診療あるいは訪問看護を受けている人になります。

Q

訪問看護の提供体制はどのように考えているのか？

A

米谷病院と豊里病院に訪問看護ステーションがあり、24時間対応しています。豊里には10人、米谷病院には5人の看護師を配置しています。今後、市内全域をカバーする訪問看護体制の充実に向けて、人員の増員を図っていきます。

Q

市立病院は民間病院と比較して経営の仕方が違うのか。民間はこんなに赤字にならないようにできているのでは？

A

登米医療圏には開業医の数が少なく、公的な医療機関以外に入院できる施設も少ないなど、市立病院が果たしてきた役割も考えなければなりません。赤字が大きい左沼病院は、合併前から登米市の救急医療・小児産科医療を支えてきました。救急医療は医療技術職などを待機させているということもあり、人件費がかかる不採算部門といわれていますが、費用対効果が求められるからといって救急医療を切り捨てるということはありません。一番の赤字の要因は人件費が大きいことと認識していますので、人員削減へ



向けた取り組みをしていかなければならないと考えています。

また、病院事業は、医師を確保しなければ医業収入は増えませんが、確保に努めていきます。

Q

合併時からの累積赤字・不良債務解消への対策は？

A

合併時点の累積赤字は53億円でした。累積赤字は帳簿上の赤字ですので、今後の収益改善に伴って減少させていきたいと考えています。経営上問題なのは現金が不足する不良債務になります。民間の金融機関からの一時借入金で資金不足に対応していますが、今後、20年度に限り認められている病院特例債の借入と一般会計からの繰入金を増やすことで、23年度の単年度黒字、その後4、5年をかけて不良債務解消を図っていきたくと考えています。

Q

救急車が20年度に東出張所と西出張所にそれぞれ1台ずつ増車されたようだが、病院の受け入れ体制は大丈夫なのか？

A

救急車を増やしたからといって、患者が増えるとは想定しておりません。救急車が必要な人に対していち早く対応ができる体

現 在、小児科や産婦人科などは、市外の病院で受診しています。今すぐという訳にはいかないでしょうが、将来は診療科目や体制が充実し、市内の病院で受診できるようになってほしいと思います。また、都市部の大きな病院と、医師間や病院間で連携をして太いパイプを作り、緊急の際や専門的な治療が必要な場合の受け入れ体制なども充実させてほしいと思います。市内の各病院や診療所、医師らがみんなで協力し合い、市民が安心して暮らせるような医療体制になるように期待します。



南浦 まどかさん.36歳
(石越町第八区)

■市民が安心して暮らせる体制づくりに期待

医 師不足は、制度上の問題など金や勤務環境の改善によって、一人でも多くの医師が登米市に定着してくれるように願っています。また、診療所については、学校や会社が終わった後でも受診できるように診療時間を延長するなど、有効に利用できる施設になってほしいと思います。この病院問題は難しい問題なので、結果や方向性が見えるまで時間がかかると思います。市民が町域の垣根を越え、共に考えることが最も重要だと思えます。



河内 正治さん.48歳
(登米町九日町)

■市民が一つになって考えていくことが重要

わ が家では、何かあると、地域のかかりつけ医で受診するようになっていますが、孫がいるので、休日や夜間などは市立、個人病院を問わず市内の医師が協力して、緊急の際の受け入れ体制をより充実してもらえると安心です。医師不足については、地元出身の医師が「登米市に帰って働こう」と思えるような病院の環境を作っていくってほしいと思います。また、これからは高齢者が多くなっていくので、介護や福祉関係の充実も医療環境の改善と同じくらい重要だと思えます。



石川 つよみさん.58歳
(中田町二ツ木)

■介護や福祉関係なども充実させてほしい



制を整えたいと考え、救急救命士の増員と増車をしました。現地への到着時間も短縮できている状況です。病院側でも迅速な受け入れ体制が取れるように、市立病院だけではなく大崎市民病院、石巻赤十字病院との連携体

制を構築しています。

Q 災害時などでけが人が発生した場合、対応はどうか？

A 市では、災害拠点病院として佐沼病院が指定を受けています。しかしながら、大規模災害の場合には建物や道路なども壊滅的な被害が出て、病院機能が果たせないこ

とが想定されます。けが人については被害の少ない地域にヘリコプターなどで搬送し、それよりも軽症の人については避難所などで、災害派遣医療チームなどによる治療を受けてもらうようになります。

【問い合わせ】
医療局経営改革推進室
☎0220(21)50330

市や病院では、市民の健康や安全を守る地域医療環境を維持し、「登米市に病院がなくなる」という最悪の状態を防ぐため、人員の見直しや経費の削減など、経営改善に向け懸命の努力を続けています。

しかし、深刻化する地方の医師不足、それに伴う診療科の縮小や閉鎖、医師の過酷な勤務形態、患者数の減少など、環境は大変厳しいものとなっており、登米市の地域医療は重大な局面に立たされています。

「地域医療」という問題は、市民の皆さんの協力と、理解が無ければ改善することが難しい問題です。

市では、市民の皆さんが安心して暮らせるような医療や福祉などの環境の構築や、サービスの充実を目指し、今後さまざまな問題の解決に向けて市民の皆さんとともに考え、「登米市型」の医療体制を構築していきます。

特集「登米市地域医療の明日」

平成19年度

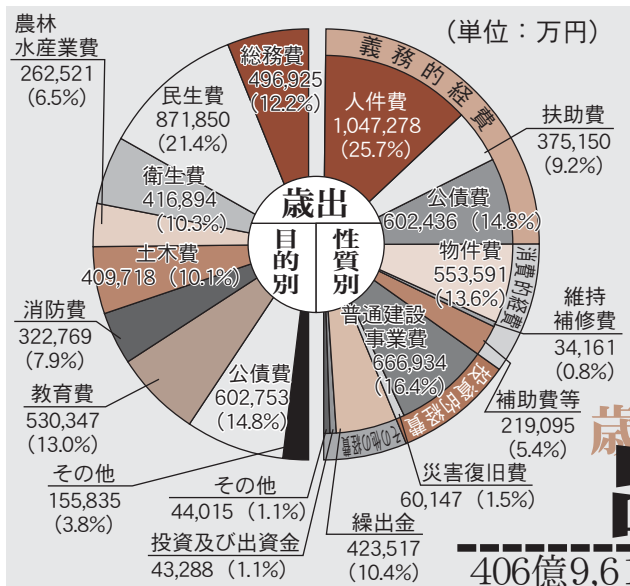
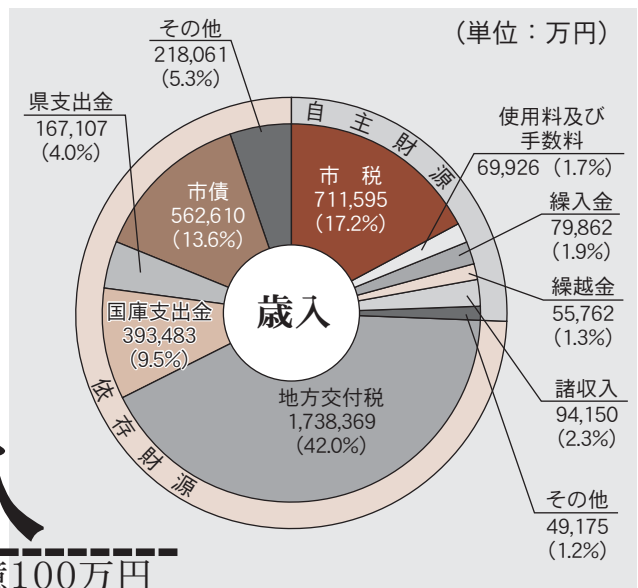
決算報告

市では、登米市の財政状況を随時皆さんにお知らせしています。平成19年度決算が9月定例会において認定されました。皆さんが納めた税金は、まちづくりにどう使われたのか、一般会計を中心にお知らせします。

【市債】
56億2610万円（13・6割）
市が社会資本の整備などを行うために、計画的に借りたお金です。

【地方交付税】
173億8369万円（42割）
全国の市町村が一定の水準の仕事ができるように国から交付されるお金で、使い道が決められていないものです。

【市税】
71億1595万円（17・2割）
市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税などで市が自主的に収入できるお金です。



【繰入金】
42億3517万円（10・4割）
下水道や国民健康保険など、一般会計とは別に経理している特別会計へ繰り出したお金です。

【普通建設事業費】
66億6934万円（16・4割）
道路の新設改良や学校などの公共施設整備に使ったお金です。

【人件費】
104億7278万円（25・7割）
市議会議員・各種委員の報酬や市職員の給与・退職金などに要する費用です。

【物件費】
55億3591万円（13・6割）
消耗品、備品の購入費、業務の委託料などの費用です。

【公債費】
60億2436万円（14・8割）
道路や公園などの施設整備をするため、長期的に借りたお金の返済費用です。

【地方交付税などの依存財源が74割】
歳入は、市税や使用料などの市が自主的に収入することのできる「自主財源」と、地方交付税や国庫支出金、県支出金など国や県から交付される「依存財源」の2つに分かれます。
市の自主財源の合計は106億470万円で、歳入全体の25・6割になります。残りの74・4割が依存財源で、その割合が高くなってきていることから、地方交付税改革などの影響を受けやすい財政基盤となっております。

財政健全化の目安 「健全安全化比率」

平成19年6月、自治体財政運営の基本法ともいえる「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定されました。この法律は、自治体の財政破たんを未然に防ぐため、悪化した団体に対して早期に健全化を促すためのものです。

目安としては、特別会計を含む全会計【表1】を対象に「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標【表2】と、公営企業ごとの資金不足額が事業規模に対してどの程度あるのかを示す「資金不足比率」【表3】の指標を用いて判断するものです。各指標が基準を超えると度合いに応じ、財政健全化計画の策定が義務付けられ、計画に基づいて財政の健全化を図るものです。

【問い合わせ】
企画部財政課
☎ 0220 (22) 2159

■表1 会計別決算状況





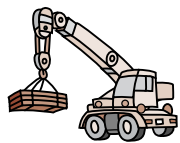







会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計		414億100万円	406億9,612万円	7億488万円	
特別会計	国民健康保険	104億7,708万円	99億5,837万円	5億1,871万円	
	老人保健	88億3,366万円	86億7,199万円	1億6,167万円	
	介護保険	58億5,896万円	57億6,619万円	9,277万円	
	曲袋地区ほ場整備事業	1,420万円	1,389万円	31万円	
	土地取得	229万円	228万円	1万円	
	公共下水道事業	41億4,899万円	40億8,541万円	6,358万円	
	農業集落排水事業	18億8,520万円	18億4,656万円	3,864万円	
	浄化槽事業	1億7,858万円	1億7,057万円	801万円	
	会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引額
企業会計	水道事業	収益的収支	23億4,369万円	22億8,004万円	6,365万円
		資本的収支	8億9,239万円	18億333万円	△9億1,094万円
	病院事業	収益的収支	85億9,547万円	100億8,490万円	△14億8,943万円
		資本的収支	4億4,236万円	4億3,932万円	304万円
	老人保健施設事業	収益的収支	3億3,130万円	3億3,021万円	109万円
		資本的収支	—	3,240万円	△3,240万円

■表2 平成19年度決算に基づく健全化判断比率（単位：％）

指標名	内容 (標準財政規模に対する割合)	健全化判断比率	基準値（平成19年度）	
			早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	一般会計の赤字額の大きさ	—	11.97	20.0
② 連結実質赤字比率	公営企業会計を含む赤字額の大きさ	—	16.97	40.0
③ 実質公債費比率	借金の返済に充てた額の大きさ	14.7	25.0	35.0
④ 将来負担比率	将来負担すべき借金などの大きさ	116.7	350.0	—

■表3 平成19年度決算に基づく資金不足比率（単位：％）

区分	資金不足比率	資金不足額	事業規模	経営健全化基準
① 水道事業会計	—	—	20億9,556万円	20.0
② 病院事業特別会計	19.7	16億371万円	81億1,990万円	20.0
③ 老人保健施設事業特別会計	—	—	3億2,968万円	20.0
④ 公共下水道事業特別会計	—	—	3億2,431万円	20.0
⑤ 農業集落排水事業特別会計	—	—	1億3,838万円	20.0
⑥ 浄化槽事業特別会計	—	—	1,511万円	20.0

<p>市民一人当たりの 決算額 461,005円</p> <p>平成20年3月末の人口88,277人で 算出しています</p>		<p>議会費 3,618円</p> 	<p>総務費 56,291円</p> 	<p>民生費 98,763円</p> 	<p>衛生費 47,226円</p> 	<p>労働費 1,075円</p> 
<p>農林水産業費 29,738円</p> 	<p>商工費 6,153円</p> 	<p>土木費 46,413円</p> 	<p>消防費 36,563円</p> 	<p>教育費 60,078円</p> 	<p>災害復旧費 6,807円</p> 	<p>公債費 68,280円</p> 

手当の種類	内容
扶養手当	○配偶者13,000円 ○配偶者以外 ①1人につき6,500円。ただし、職員に配偶者がいない場合は扶養親族のうち1人につき11,000円。 ②満15歳に達する日以後の最初の4月1日から、満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある扶養親族たる子については、1人につき5,000円を加算。
通勤手当	○交通機関 6カ月定期などの最も経済的な額 ○自動車など 使用距離に応じて2,000円～24,500円を支給
住居手当	○アパートなど 家賃などに応じて27,000円を限度として支給 ○新築住宅など 5年間、月額2,500円を支給
管理職手当	○管理または監督の地位にある職員について、その職務の特殊性に基づき支給 最高額 66,400円 ※ただし、平成18年4月1日～平成22年3月31日については20%減額
その他の手当	上記のほかに、労働基準法の規定に基づいて支給している時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当などがあります。

(5) 特別職等の報酬等の状況 (平成20年4月1日現在)

区分	給料月額等	区分	給料月額等		
給料	市長	882,000円	報酬	議長	351,000円
	副市長	734,700円		副議長	288,000円
	病院事業管理者	598,500円		議員	268,000円
	教育長	617,500円			
期末手当	市長	6月期 2.1月分	期末手当	議長	6月期 1.6月分
	副市長	12月期 2.3月分		副議長	12月期 1.7月分
	病院事業管理者			議員	計 3.3月分
	教育長	計 4.4月分			

※市長、副市長、病院管理者、教育長の給料月額額は減額措置後の金額です(平成18年4月1日～平成22年3月31日までの間、市長10%、副市長7%、病院管理者5%、教育長5%)。

職員の勤務時間その他勤務条件の状況

(1) 職員の勤務時間

1週間の勤務時間	開始時刻	終了時刻	休憩時間
40時間	8:30	17:15	12:00～12:45

(2) 年次有給休暇の取得状況 (平成19年1月1日～平成19年12月31日)

総付与時間数 A	総使用時間数 B	対象職員数 C	平均取得時間数 B/C	取得率 B/A
300,072時間	163,887時間	1,882人	87時間/年	54.6%

(3) 時間外勤務及び休日勤務等の状況

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

時間外・休日勤務総時間数	職員一人当たりの時間外・休日勤務平均時間数
142,670時間	93時間/年

(4) 育児休業取得者の状況

区分	男性	女性
新たに育児休業を取得した者	0	22
前年度から引き続いている者	0	18

職員の分限及び懲戒処分の状況

(1) 分限処分の状況 (平成19年度)

単位：人

区分	降任	免職	休職	合計
勤務実績が良くない場合	0	0	0	0
心身の故障の場合	0	0	6	6
職に必要な適格性を欠く場合	4	0	0	4
職制、定数の改廃、予算の減少により 廃職または過員を生じた場合	0	0	0	0
刑事事件に関し起訴された場合	0	0	0	0
計	4	0	6	10

(2) 懲戒処分の状況 (平成19年度)

単位：人

区分	免職	停職	減給	戒告	計	訓告等
法令に違反した場合	0	0	0	0	0	0
職務上の義務に違反し、 または職務を怠った場合	0	4	7	5	16	10
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行があった場合	2	0	0	0	2	49

職員のサービスの状況

サービスの具体的内容

○法令等及び上司の職務上の命令に従う義務○信用失墜行為の禁止○秘密を守る義務○職務に専念する義務○政治的行為の制限○争議行為等の禁止○営利企業等の従事制限

職員の研修及び勤務成績の評定の状況

(1) 研修の状況

平成19年度における職員の研修は、「登米市人材育成基本方針」に基づき実施しています。

区分	内容	受講者数	備考
職場研修	6講座開催	2,651	人事評価研修、問題解決能力向上研修ほか
自己啓発研修	通信制講座受講支援など	52	e-ラーニング法制実務研修
職場外研修	宮城県市町村職員研修所	164	階層別研修、実務研修、ステップアップ研修ほか
派遣研修	総務省、宮城県派遣など	21	東北六県研修、自治大学校、海外派遣研修ほか

(2) 勤務成績の評定の状況

平成19年度については、課長級(行政職5級相当)以上の管理職員(医師を除く)を対象として、勤勉手当の成績率決定に係る勤務成績の評価を実施しました。

職員の福祉及び利益の保護の状況

健康管理に関する状況

法律及び市規則の規定により、職員の健康診断等を行っています。

単位：人

区分	対象者	受診者数
定期健康診断	全職員(人間ドック受診者除く)	813
人間ドック	35歳以上の希望者	614
胃がん検診	35歳以上の希望者	124
子宮がん検診	20歳以上の希望者	340
乳がん検診	30歳以上の希望者	279
大腸がん検診	40歳以上の希望者	74
かくたん検査	希望者	47
前立腺がん検査	希望者	44

市職員の給与などのあらまし

—登米市人事行政の運営等の公表—

市職員の給与などの状況は、市議会での予算や給与条例の審議などを通じて明らかにされています。今回は職員給与の実態について、広く市民皆さんに理解していただくため、そのあらましを紹介します。

【問い合わせ】総務部人事課 ☎ 0220 (22) 2145

職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の採用・退職の状況

単位：人

区分	平成19年 4月1日現在	退職者数	採用者数	平成20年 4月1日現在
事務職・ 技術職	1,638	92	16	1,562
消防職	143	4	11	150
労務職	133	10	0	123
計	1,914	106	27	1,835

(2) 役職別職員数 (平成20年4月1日現在)

単位：人

部長級	14	次長級	55	課長級	181	課長 補佐級	530
係長級	435	一般職	497	労務職	123	合計	1,835

(3) 年齢別職員構成の状況 (平成20年4月1日現在)

単位：人

区分	20歳 未満	20歳～ 23歳	24歳～ 27歳	28歳～ 31歳	32歳～ 35歳
職員数	6	31	94	181	191
区分	36歳～ 39歳	40歳～ 43歳	44歳～ 47歳	48歳～ 51歳	52歳～ 55歳
職員数	153	150	171	254	316
区分	56歳～ 59歳	60歳 以上	計		
職員数	282	6	1,835		

(4) 部門別職員数の状況 (平成20年4月1日現在)

単位：人

部門	区分	職員数	
		H19	H20
一般行政部門	議会	8	8
	総務	267	252
	税務	39	36
	民生	210	208
	衛生	93	89
	労働	0	0
	農水	94	88
	商工	9	13
	土木	75	76
	小計	795	770
特別行政部門	教育	272	263
	消防	152	158
	小計	424	421
普通会計計		1,219	1,191
公営企業等 会計部門	病院	585	539
	水道	49	44
	下水道	30	28
	その他	32	34
	小計	696	645
合計		1,915	1,836

※教育長を含む

職員の給与の状況

(1) 人件費の状況 (普通会計決算)

区分	歳出額 A	人件費 B	人件費率 B/A
H19	40,560,655 千円	10,591,046 千円	26.11 %

参考
平成18年度の人件費率

26.15%

(2) 職員給与費の状況 (普通会計決算)

区分	職員数 A	給与費				一人当 たりの 給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・ 勤勉手当	計 B	
H19	1,218 人	4,727,147 千円	628,367 千円	1,951,477 千円	7,306,991 千円	5,999 千円

(3) 職員の平均給料月額、平均給与月額、平均年齢の状況

(平成20年4月1日現在)

区分	一般行政職	消防職	労務職 (企業職員を 除く)	企業職 (医療職(三))	企業職 (水道事業)
平均給料 月額	334,039 円	297,275 円	289,154 円	311,773 円	348,234 円
平均給与 月額	369,504 円	369,225 円	310,095 円	354,527 円	411,899 円
平均年齢	44.8歳	41.7歳	48.3歳	42.9歳	47.4歳

(4) 職員手当の状況

手当の 種類	内容			
期末手当 ・ 勤勉手当	平成20年度支給割合			
		期末手当	勤勉手当	合計
	6月期	1.40月分	0.75月分	2.15月分
	12月期	1.60月分	0.75月分	2.35月分
退職手当	職務上の段階による加算措置……有			
	支給率	自己都合	勸奨・定年	
	勤続20年	23.50月分	30.55月分	【その他の加 算措置】 定年前早期 退職特例措 置 (2%～20%)
	勤続25年	33.50月分	41.34月分	
	勤続35年	47.50月分	59.28月分	
最高限度額	59.28月分	59.28月分		

平成21年 登米市成人式

市では、20歳を迎えた皆さんの門出を祝い、成人式を開催します。

【日時】

平成21年1月11日（日）午後1時開式〔受付〕午前11時30分～午後0時30分

【会場】

登米総合体育館（とよま蔵ジウム）登米市登米町寺池目子待井10番地 ☎ 0220（53）1155

【対象者】

- 平成16年3月に市内の中学校を卒業した人
 - 昭和63年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた人で、平成20年9月1日現在、登米市に住民登録されている人
- ※新成人の皆さんには案内状を送ります。当日は案内状を必ず持参してください。

【お知らせ】

- 駐車場は台数に限りがありますので、乗り合わせや市民バスでの来場にご協力ください。
- 市民バス時刻表（乗り継ぎなどの詳しい情報は、市ホームページの市民バス時刻表で確認してください）

行き	循環線（浅水経由登米）4便	迫庁舎10:33 ● 中田庁舎10:50 ● 登米庁舎11:22
	津山線（上り）5便	登米庁舎14:44 ● 迫庁舎15:10
帰り	循環線（米岡経由佐沼）7便	登米庁舎15:27 ● 米山総合支所15:50 ● 南方庁舎16:19 ● 迫庁舎16:32
	循環線（浅水経由佐沼）7便	登米庁舎15:38 ● 中田庁舎16:11 ● 迫庁舎16:28

- 会場では上履きが必要です。記念写真の撮影もありますので、草履などを持参願います。家族など観覧する人も、上履きを持参願います。



市民バスの時刻表は、「モバイルとめ」でご覧になれます。
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>

【問い合わせ】 教育委員会生涯学習課 ☎ 0220（34）2698



企業の先端技術や地場産品を広く紹介



体感! 登米市のワザ・モノ

第4回登米市産業フェスティバル

登米市内の産業を市内外の人や企業に紹介するとともに、企業間のコミュニケーションに役立ててもらおうと、第4回登米市産業フェスティバルが11月8、9日の2日間、登米総合体育館で開催されました。

体育館の中では、地元企業、学校、団体が自慢の商品や最先端の技術を駆使した製品などを紹介。また、屋外では37店舗の市内産農林畜産物、加工品、米粉料理などの販売・試食ブースやさまざまな体験コーナーも設けられ、多くの家族連れでにぎわいました。



- ① 地元企業の製品展示や体験コーナーなどに多くの人を訪れ、にぎわった会場
- ② 石巻専修大学によるこども科学実験教室
- ③ ソニーケミカル&インフォメーションデバイス㈱によるAMラジオ製作
- ④ 大勢の参加者が集まった迫りコー㈱の体験ブース「コピー機にしてみよう」
- ⑤ 林業コーナーでの見事なチェーンアート
- ⑥ 多くの旬の食材が並び、にぎわう登米グルメテント村



第5回 全国はっとフェスティバル

【問い合わせ】

第5回全国はっとフェスティバル
実行委員会事務局
(産業経済部商工観光課内)
☎ 0220 (34) 2734

とき

12/7 (日)

場所

中江中央公園

時間

午前10時～午後2時

◇はっと出店者一覧

No.	市町村名	出店者名	料理名	No.	市町村名	出店者名	料理名
1	山梨県増穂町	榎はくばく	山梨のほうとう	16	登米市	そば処 船橋や	船橋やの鴨ばっと
2	福島県楡葉町	ならはずいとん研究会	マミーすいとん	17		レストラン 蓮房	具だくさんばっと ほか
3	岩手県花巻市	毘沙門組合	ひつつみ	18		侑若寿司	牛筋モロヘイヤばっと
4	仙台市	大野田みどり会	豚はっと汁	19		林林館森の茶屋	森の具だくさん塩ばっと
5		宮城学院女子大学	♡キューティーはっと♡	20		阿部まり	韓国はっと
6	美里町	はなやか亭	すいとん	21		鮎信	海鮮はっと
7	栗原市	百笑村	レンコン・エビ天はっと	22		田舎料理 ころも川	具だくさんばっと汁
8		高橋農遊	栗原復興はっと汁	23		平町ファーマーズ	牛もつばっと
9	南三陸町	泰東丸水産	ホタテはっと汁	24		農家レストラン はっと亭	特製キムチはっと ほか
10		レストラン神割	海鮮はっと	25		伊東屋	もっこりニラはっと
11	登米市	南三陸志津川若草会	海鮮はっと	26		マルニ食品㈱	マイタケ入りはっと
12		登米市地域婦人連絡協議会	きのこ汁はっと ほか	27		たかへい	油麩入りはっと ほか
13	登米市	佐沼中央商店会	イタリアンはっと	28		愛菜館 こめっこ亭	油麩入りはっと汁
14		侑伊豆沼農産	赤豚カレーはっと	29		木里口	味噌はっと
15		長沼観光売店協同組合	はっと	30	あゆみ工房	はっと汁 ほか	

第50回水道週間作品コンテスト

市水道事業所で水道に関する作品を募集したところ、図画、習字、標語、作文の部に、市内小中学生や一般の人から1,085点の応募がありました。表彰式は11月14日に開かれ、各部の特選・入選者に賞状などが手渡されました。

なお、特選・入選作品は、日本水道協会、日本水道新聞社共催の全国コンクールに出品され、作文小学生低学年の部で千葉沙彩さん(加賀野小3年)「ありがとう、きれいな水」、同高学年の部で千葉沙紀さん(加賀野小6年)「水を考える“一つの出来事から”」の作品が入選しました。

市内から出品した作品の全国入賞は8年連続となります。また、千葉沙彩さんは全国で3年連続(作文の部)、千葉沙紀さんは2回目(図画の部、作文の部)の入選となります。



② まごころが
たくさんが
つまった
水道水



◆作品コンテストの結果一覧(敬称略)

部 門	賞	学校名・学年	氏 名	写真
図画	小学生低学年の部	特選	石森小2年 菅原 拓海	③
		入選	柳津小2年 佐々木 太陽	
	小学生高学年の部	特選	加賀野小5年 折居 美咲	①
		入選	加賀野小6年 後藤 智春	
			加賀野小6年 佐々木 愛	
			中津山小4年 鮎澤 つぐみ	
中学生の部	特選	石越中2年 永岡 奏子	⑥	
	入選	石越中2年 池田 有希穂		
		新田中3年 高橋 聖美		
習字	小学生低学年の部	特選	横山小3年 橘 生蔭	④
		入選	石越小2年 二階堂 杏香	
			宝江小3年 及川 健太	
	小学生高学年の部	特選	上沼小3年 岩 澗 奈瑠	
		入選	豊里小5年 金 美湖	⑤
			登米小6年 千葉 京香	
標語の部	特選	登米小5年 鮫 名まこ		
		上沼小5年 後藤 玲那		
	入選	登米小6年 清野 ひかる	②	
		柳津小4年 大内 唯		
作文	小学生低学年の部	特選	加賀野小3年 千葉 沙彩	
		入選	登米小2年 小野寺さくら	
		特選	加賀野小6年 千葉 沙紀	
	小学生高学年の部	特選	上沼小5年 荒井 頷	
			石越小4年 木村 江里	
		入選	石越小4年 及川 莉南	

※特選・入選の全作品は市ホームページで見ることができます。

協働でひらく、これからのまちづくり

今月号では、登米町と迫町、東和町の取り組みについて紹介します。皆さんの住む地域を元気にし、住み良いまちを作っていく「協働のまちづくり」。紹介した以外にも各地でさまざまな取り組みが行われています。今後も皆さんの活力をまちづくりに生かし、素晴らしい「登米市」を作っていきます。

登米町各地域の協働への取り組み

【駅前町内会】

駅前町内会では、高齢者世帯が多く、行事などへの参加者が年々少なくなっていることから、住民同士の交流のきっかけ作りとして地区内の清掃作業に取り組んでいます。作業には毎回多くの住民が参加し、共同作業を通じてコミュニケーションを深めています。



協力して花壇の清掃をする駅前町内会の皆さん

【後舟橋町内会】

後舟橋町内会では夜間の火

災と犯罪を予防しようと、夜間のパトロールを実施しています。

参加者は反射タスキを付け、ライトと防犯ブザーを持ちながら地区をパトロールし、地域の安心・安全な環境づくりに取り組んでいます。

【観光案内人倶楽部】

「みやぎの明治村・とよま」観光案内人倶楽部では、登米町を訪れた観光客に観光のガイドをしています。

登米町には年間約40万人もの観光客が訪れ、観光ガイドをする回数は多いときで年間500回ほどにもなります。

観光客に登米町の歴史や文化、自然、施設などの案内を通じ、地域の持つ魅力を紹介することによって「来てよかった、もう一度行ってみたい」と感じてもらい、一人でも多くの観光客に訪れてもらえるよう活動に努めています。また、観光案内の内容を充実させるため、研修会も行っており、人材の育成にも取り組んでいます。



▲協働キャラクター「とめ丸」

東和町各地域の協働への取り組み

【新小路町内会】

新小路町内会では、解体された市営住宅跡地を地区住民が集うミニ公園にしようと、住民が協力して作業に取り組んでいます。

ミニ公園の整備作業は、跡地の除草から整地、芝草の植栽、屋根付きベンチの設置などが行われ、すべて地域住民の手で行われています。

ミニ公園は、地域住民の憩いの場としてだけでなく、災害時の一時避難所としても活用できるため、安全・安心なまちづくりに貢献する活動となっています。

【吉田水利組合】

吉田水利組合では、地区内の農地に農機具や苗箱などの洗浄ができる多目的共同洗

場の整備を進めています。この事業には、農地を耕作する農業後継者が中心となって取り組んでおり、多目的共同洗いは水車を設置するなど、豊かな農業環境のPRと誰でも気軽に利用できるような施設作りを計画しています。

迫町森地区協働まちづくり委員会設置事業

森地区コミュニティ推進協議会では地域が抱える問題を整理し、これからの地域の目標や改善方法などについて住民が話し合う「森地区協働まちづくり委員会」を設置しています。

同協議会では今後も検討会を重ね、地区の将来あるべき姿をまとめた「森地区まちづくり計画」の策定を目指しています。



森地区の課題や今後の方向性についての検討会

女性企業家講演会

男女共同参画での地域づくり実現のため、女性のリーダーを養成しようと10月31日、(株)ユー企画の大塚真実さんを講師に招いて講演会が開催されました。

講演会は教育委員会生涯学習課との共催で、登米市女性セミナー受講者を対象として行われました。内容は、江戸時代の人間関係を円満にする知恵(江戸しぐさ)についての講話のほか、グループに分かれての話し合いが行われ、固定観念にとらわれない考え方の重要性や、話によって自分の考えを人に伝える大切さを学びました。



言葉や立ち居振る舞いの重要性を語る大塚さん

【問い合わせ】

企画部市民活動支援課
0220(22)2173

秋の 叙勲・褒章

重ねた努力と永年の 功績が認められ

2008年秋の叙勲・褒章で、市内から秋山次男さん（豊里町東二ツ屋）、千葉貞さん（中田町柴六）、鈴木米治さん（迫町平柳）、小野寺勇紀さん（東和町米川第3区）、小野寺裕さん（東和町米川第9区）、千葉輝男さん（中田町並柳）が受章しました。

旭日章

秋山 次男さん（豊里町・85歳）



昭和51年3月から平成12年1月までの23年間、豊里町選挙管理委員会委員として在職し、特に昭和63年3月からは同委員会委員長として委員会の適切な運営に尽力し、自ら開票管理者、選挙長となり選挙の適切な執行に貢献されました。

瑞宝単光章

千葉 貞さん（中田町・77歳）



昭和36年、中田町消防団に入団。以来38年の消防歴。平成3年に中田町消防団分団長、平成6年から副団長として火災予防思想の普及、啓発と地域防災活動に尽力しました。平成7年3月に消防庁長官より永年勤続功労賞を受賞されています。

瑞宝双光章

鈴木 米治さん（迫町・82歳）



昭和20年、迫町消防団に入団。以来39年の消防歴。昭和47年から登米地区消防事務組合予防課長として、防災行政に尽力されました。昭和58年から退職まで消防本部長を歴任。昭和55年3月に消防庁長官より永年勤続功労賞を受賞されています。

瑞宝単光章

小野寺 勇紀さん（東和町・67歳）



昭和40年、東和町消防団に入団。以来37年の消防歴。49年から登米地区消防事務組合消防吏員として、地域防災に尽力されました。平成3年11月に永年勤続知事褒章、平成12年3月には消防庁長官より永年勤続功労賞を受賞されています。

黄綬褒章

小野寺 裕さん（東和町・59歳）



東京農業大学醸造科学科卒業後、昭和46年にヤマカノ醸造(株)に入社。入社後は開発や営業など各分野を担当し、37年間商品の品質向上、需要拡大に力を注がれています。平成18年には「現代の名工」として厚生労働大臣表彰を受賞されています。

藍綬褒章

千葉 輝男さん（中田町・79歳）



農業や行政区長をしながらも、昭和55年から平成19年までの27年間、民生児童委員として地域の社会福祉の発展に尽力されました。現在も月1〜2回、市の社会福祉協議会の配食サービスで、高齢者の安否確認などに努められています。

市スポーツ 入賞情報 (敬称略)

平成20年度間伐・ 間伐材利用コンクール

■開催日 10月16日(木)
■会場 福島県会津若松市
ワシントンホテル

【林業事業体による森づくり
部門】
間伐推進中央協議会会長賞
夢の森つやま協同組合

第3回登米市長杯争奪 ソフトボール大会

■開催日 10月19日(日)
■会場 東和総合運動公園
第1位 登米ヤンキース(中田)
第2位 北方クラブ(迫)

第12回登米市民 アーチェリー大会

■開催日 10月19日(日)
■会場 東和総合運動公園
第2グラウンド

【小学生の部】
第1位 永澤瑛悟(登米)
第2位 佐々木敬太(東和)
第3位 千葉美紅(東和)

【初心者の部】
第1位 及川晴美(登ア協)
第2位 中村為夫(迫)
第3位 高橋巧(中田)

【18歳以上の部】
第1位 千葉亜美(東和)
第2位 沼田佳佑(東和)
第3位 岩淵萌(東和)

第3位 光ヶ丘東
ファイターズ(迫)
F・西野倶楽部(米山)

みやぎ市町村県 共同ケヤキ債を発行します

市では、今年度も宮城県、栗原市、岩沼市、加美町と共同で、地域住民向けの市場公募地方債を発行します。

今回、共同発行する市場公募地方債は30億円で、そのうち4億円は登米市汚泥再生処理センターなどの整備に充てる財源とします。

県内に居住・勤務している個人や事業所のある法人であれば、どなたでも購入できます。

【名称】 みやぎ市町村県共同ケヤキ債
※平成20年度第1回宮城県市町村共同発行公募公債

【購入申込期間】 12月11日(木)～19日(金)
※申し込み総額が30億円に達した時点で締め切り

【発行条件】

- ①利率＝固定金利で5年国債利回りを参考に12月9日に決定予定
- ②発行日＝12月26日(金)
- ③購入限度額＝1人当たり1万円単位で1000万円まで

【取扱金融機関】

七十七銀行と仙台銀行および杜の都信用金庫の県内店舗窓口で、先着順に販売

【購入時に必要なもの】

購入代金、印鑑、本人を確認できる書類(運転免許証など)

※すでに購入先銀行店舗の通帳を持っている人は通帳

※法人の場合は、商業登記簿謄本など
※マル優・特別マル優制度を利用する人は、確認書類(年金手帳など)

【問い合わせ】

- ▶企画部財政課 ☎0220(22)2159
- ▶七十七銀行、仙台銀行および杜の都信用金庫の県内店舗窓口

第3位 光ヶ丘東

F・西野倶楽部(米山)

【30歳以上の部】

第1位 大内圭(東和)
第2位 及川司(東和)
第3位 宮川祐哉(東和)

【50歳以上の部】

第1位 及川万希(東和)
第2位 小野寺公正(東和)
第3位 千葉宏幸(東和)

【親子の部】

第1位 永澤清昭・瑛悟(登米)
第2位 及川晴美・一希(登ア協)
第3位 及川浩美・志帆(東和)

第20回宮城県小学生 選抜ソフトテニス大会

■開催日 10月19日(日)
■会場 東和総合運動公園
テニスコート

【小学生4年以下男子の部】
第3位 粕谷・藤枝(中田)

【小学生5年男子の部】

第3位 関口・勝田(中田)

【小学生6年女子の部】

第3位 石川・千葉(東和)

第6回県内中学校選抜 チーム交流野球大会

■開催日 11月8日(土)～
9日(日)
■会場 石越球場ほか

第2位 登米市選抜チーム

エコデスマイルコン テストinみやぎ

■開催日 11月8日(土)
■会場 仙台国際センター

優秀賞 登米町森林組合
「無駄なく使おう森林資源」

防災ミニ情報

③避難について

「災害時には避難所へ」これは、災害が発生した際には重要なことですが、高齢者や幼児など、避難する人の状態や家屋の被災状況によっては、自宅で生活を送るほうが肉体的・精神的に負担が少ない場合があります。災害の際は周囲の状況などを判断し、避難場所を決めましょう。

しかし、次のような場合は避難所への避難が必要です。
①建物の倒壊や火災の延焼拡大、ガス漏れなど二次災害の危険性を感じたときなど。
②市や消防署、警察署などから避難の勧告、指示があったときなど。
市では、学校、公民館などを避難所として指定しています。いざというときに慌てないためにも、あらかじめ避難する場所・施設などを家族で話し合っておきましょう。



2008北京パラリンピック出場選手（敬称略）

No.	氏名	種目	所属	出身地
1	小野寺 公正	アーチェリー（選手）	榊倉元製作所	東和町

第63回国民体育大会出場選手・監督（敬称略）

No.	氏名	種目	所属	出身地
1	小野寺 晃	陸上競技（選手）	豊里小・中	米山町
2	西條 裕喜	陸上競技（選手）	志津川高1年	米山町
3	星 幸太	陸上競技（選手）	佐沼高3年	迫町
4	菅原 新	陸上競技（選手）	クレーマージャパン榊	南方町
5	千葉 なお美	陸上競技（選手）	岩手大4年	東和町
6	阿部 純也	バレーボール（選手）	東北高3年	津山町
7	中津川 澄男	ソフトテニス（監督）	東北高	南方町
8	佐々木 崇	剣道（選手）	宮城県警察機動隊	迫町
9	佐々木 栄幸	剣道（選手）	宮城県警察学校	迫町
10	深堀 誠	剣道（選手）	津山中	中田町
11	松木 俊道	アーチェリー（選手）	近畿大3年	東和町
12	三浦 祐太郎	アーチェリー（選手）	榊スポーツアカデミー	迫町
13	及川 万希	アーチェリー（選手）	（有）中川商事	東和町
14	千葉 正俊	アーチェリー（監督）	米谷工業高	迫町
15	小川 洋	アーチェリー（選手）	米谷工業高3年	東和町
16	芳賀 聡	アーチェリー（選手）	米谷工業高3年	東和町



佐々木会長から記念品を受ける選手

第63回国民体育大会「チャレンジ!おおいと国」(9月27日〜10月7日)と、2008年北京パラリンピック(9月6日〜17日)に出場した市出身の選手・監督の栄誉をたたえるため、「第63回国民体育大会並びに北京パラリンピック出場選手・監督等報告会(市

地元の選手が各地で大活躍

第63回国民体育大会および北京パラリンピック出場選手・監督報告会

体育協会主催)が11月18日、ホテルサンシャイン佐沼で開催されました。

陸上、バレーボール、剣道、ソフトテニス、アーチェリーの5競技に出場した選手や監督のほか、体育協会、スポーツ少年団、学校、市関係者ら70人が参加。選手や監督一人一人に佐々木猛会長から記念品が手渡され、記念撮影や会食をしながら懇談しました。競技の結果は上記のとおりで、市出身の選手・監督が大活躍した大会となりました。



試合の結果や来年度に向けての抱負を発表

最新設備で運用スタート

登米市斎場（新火葬場）火入れ式



斎場の各施設についての説明を受けました

登米市斎場（新火葬場）が11月から稼働開始することに伴い10月31日、同所で火入れ式が開催されました。当日は、開会に先立って担当者から各部屋ごとの特徴などの説明が行われました。式では、市長が「この斎場建設は広域4事業の一つで、



最大60人が使用できる待合室

市の最優先課題の一つでもありました。設備的には太陽光発電を取り入れたり、県内では仙台市に次いで2番目となる集塵設備のバグフィルタを設置し、周辺環境に配慮した施設となっています。市民皆さんから要望のあった待合室は1部屋約50畳の広さとなり、4部屋すべて洋室のいす席となっています。管理運営は指定管理者制度を採用し、効率的な運営、きめ細やかなサービスが提供できるものと期待しています」と式辞を述べました。

その後、炉前のホールで市長が炉の点火スイッチを入れ、火入れが行われました。

新火葬場については今後、外構工事や解体工事などが行われ、最終的な完成時期は来年3月を予定しています。

89 ERS選手が登米市に

バスケットボール教室／bjリーグ公式戦

男子プロバスケットボール、bjリーグ2008～2009シーズン公式戦、仙台89ERS第3・4戦（対富山グラウジーズ）が10月25、26の両日、登米総合体育館で行われました。

公式戦に先立ち、前日の10月24日には市内外の小中学生約100人を対象に、中田総合体育館でバスケットボール



浜口ヘッドコーチも加わってのバスケット教室



両チームとも、1点を争う白熱したゲームが展開されました



ブースターも大熱狂

教室を開催。宮城県出身の下光、佐藤真哉、松田大地、志村雄彦選手をはじめ、全選手とコーチ陣が講師を務めました。

参加者は、小学生と中学生がそれぞれ班に分かれ、ポールハンドリングやターン、デイフェンスなどの技術に磨きをかけました。また、教室終了後には選手

との交流会も行われ、子どもたちはお目当ての選手からサインや握手をしてもらい、貴重な体験となりました。

公式戦は両日とも前売り券が完売し、スタンドは超満員。市内外から訪れたブースター（応援団）がチームカラーの黄色の手ぬぐいやボードなどを持って、選手に大きな声援を送りました。

第3戦は一時は同点に追いつかれましたが、要所で確実にフリースローを決め82対70で勝利。第4戦は連勝を狙い健闘しましたが、73対79で惜しくも敗れました。

災害に備え 大規模訓練

自衛隊震災対処訓練 登米市会場



ヘリコプターでの住民救助輸送訓練



自衛隊から特殊機材の説明を受ける参加者

宮城県沖地震を想定した震災対処訓練が10月31日と11月1日の2日間、宮城県と岩手県の22の市町村で自衛隊員や住民など約1万6000人が参加して実施されました。市内では、長沼フットピア公園を主会場に、第6師団

（山形県東根市）の自衛隊員を中心に市消防本部や市民、延べ1200人が、人命救助や孤立集落からの住民救助輸送、給水訓練などを行いました。2日間にわたり光ヶ丘球場で行われた住民救助輸送訓練では、避難住民役の市職員や自主防災組織の代表など40人が、自衛隊ヘリコプターでの避難を体験しました。

長沼フットピア公園では1日、自衛隊の炊事車両や入浴施設、音響探査機などの特殊機材の展示、自衛隊員が食べるカレーの試食などが行われました。カレーの試食では配布前から長蛇の列となるなど、会場には多くの人が訪れ、普段見ることのない自衛隊機材に実際に触れたり、隊員から熱心に説明を受けるなど、盛会のうちに終了しました。

仙台フィル との夢の共演

第4回 ときめき市民コンサート



とめ市民合唱団と仙台フィルハーモニーの素晴らしい共演

第4回ときめき市民コンサート（同実行委員会など主催）が11月9日、登米祝祭劇場で開かれました。
ときめき市民コンサートは2005年、登米市誕生を祝



岩村さんの熱の入った指導

いスタート。公募によって結成された「とめ市民合唱団」のコーラスを中心に、地元演奏家や楽団との共演を行いました。

今年度のとめ市民合唱団は登米、栗原、大崎、石巻などの合唱団に所属する85人が集まり、7月から週1回の練習を重ねてきました。

今回は、かねてから団員が要望していた仙台フィルハーモニー管弦楽団との共演が実現し、指揮者に元NHK交響楽団アシスタントコンダクターの岩村力（ちから）さんを迎え、オーケストラの演奏とともに、モーツァルト「アヴェ・ヴェルム・コルプス」や「もみじ」、「荒城の月」など、素晴らしい演奏とハーモニーが披露されました。

大きな森を育てる小さな一粒

市民参加の新たな森林づくり

「市民参加の新たな森林づくり」（県、市、米川生産森林組合共催）が11月10日、東和町米川字西綱木地区の山林で行われました。

これは、自然の形に近い森林づくりを目指して毎年開催されており、今年4月に行われた津山地区の植樹に引き続いて開催されました。作業には米川小の全児童や関係者、約150人が参加し、ヤマザクラ20本の植樹とミズナラ約5000個の種をまきました。開会式では布施市長が「森



市長とともにミズナラの種をまきました



仲良く種を植える千葉さん（左）と菅原さん（右）

林は空気や水の浄化のほかに、山の幸など多くの恵みをわたしたちに与えてくれます。今日まく小さな種は、何十年もかけて大きくなります。将来、皆さんが大人になったら、ぜひもう一度、みんなで植えた木を見にきてほしいと思います」と話しました。参加した児童たちは、県登米地域事務所の職員からまき方の説明を受けた後、上級生と下級生がペアを組み、作業に取り組みました。

「今日植えた種が成長し、動物などが集まる大きな森になってほしいと思います」。また、1年の千葉優真（ゆうま）さんは「木が大きく育ったら、みんなでドングリを拾いにきたいです」と話していました。米川小児童は作業終了後、小学校で津山木工芸品事業協同組合の西條理事長に指導いただき、オリジナルのはし作りなどを体験しました。昼食には山の恵みのきのこ汁が振る舞われ、大いに自然を満喫した一日となりました。



外で食べるきのこ汁は、格別の味でした

自 豊里で地区文化祭 慢の作品が勢ぞろい

地域における文化活動の成果を発表する豊里地区文化祭（豊里文化協会主催）が11月2日、3日の両日、旧豊里小学校体育館を会場に開催されました。会場には、豊里小・中学校の児童生徒や、幼稚園、保育園の園児などによる写真や絵画が展示されたほか、地域の人たちが日ごろ創作した手芸、書道などの作品が展示されました。また、ステージでは文化協会による芸能発表会も行われました。会場には家族連れなどが大勢訪れ、展示されている多くの作品や、芸能発表での見事な踊りを楽しんでいました。



▲文化発表会では子どもたちのかわいらしい踊りも発表されました



▲開会式では沼崎区の伊藤選手が選手宣誓

地 南方で南方一周駅伝大会 区の期待を背中に受け力走

今年で27回目を迎える南方一周駅伝大会が11月16日、南方中学校をスタート・ゴール地点に、南方地区内15.5km、9区間で争われました。これは行政区対抗の駅伝で、地域の融和や結束を強め、地域の皆さんで喜びを分かち合える大会として毎年開催されています。少子化などにより年々参加チームは減少してきていますが、今年も7チームが参加し、日ごろから鍛えた健脚とチームワークを競い合いました。今年の結果は、新高石区との激しい1位争いを制した沼崎区が2連覇を達成しました。

取 米山で「ふるさとよねやま秋まつり」 り組みごとに大きな歓声

ふるさとよねやま秋まつりが10月25日から26日の2日間、米山総合支所と道の駅米山周辺で開催されました。ちびっこ相撲大会では、幼稚園年少（4歳）から小学校6年生（12歳）までの幅広い年齢層から多くの子どもが参加し、ほほえましい取組や気迫あふれる取組などが数多く行われ、会場には子どもたちの取組を見ようと、多くの観客が訪れていました。また、発動機愛好者による発動機の展示が行われ、エンジンの音や煙のにおいなど、多くの人が昔をなつかしみながら見学していました。



▲かわいらしい力士たちがたくさん参加した「ちびっこ相撲大会」



▲おそろいの法被姿で拍子木を打ちながら火災予防を呼び掛けました

津山で幼年消防クラブ防火パレード 大きな声で「火の用心！」

秋季火災予防運動の一環として、つやま幼稚園幼年消防クラブの園児51人が11月10日、防火パレードを行いました。父兄会や婦人防火クラブ員らも参加して、柳津小学校校庭でパレードの出発式が行われ、園児代表が「ぼくたち、わたしたちは、絶対に火遊びはしません」と誓いました。その後、柳津小を出発した園児たちは、幼稚園までの約1kmの区間、拍子木を打ち鳴らしながら「火の用心、マッチ一本火事のもと」と、沿道の市民に火災予防を元気いっぱい呼び掛けました。

伝 迫で伊達なおいとこ踊り宮城大会 伝統の唄と踊りを競い合う

第18回伊達なおいとこ踊り宮城大会（奥州森邑十三講秋祭り奉賛会主催）が11月9日、森公民館で開催されました。祝いの席の座敷踊りとして踊り継がれ親しまれている「おいとこ踊り」の競演に、県内外の9歳から78歳までの18組・45人が参加しました。唄や踊りが地域ごとに少しずつ違いがあるところも、見どころで、それぞれの踊りに大きな拍手と歓声が上がりました。最優秀賞（宮城県知事賞）は野田アキ子さん（栗原市）が受賞。そのほかの入賞者にも、市長賞、教育長賞などが贈られました。



▲小学生も参加し、大人顔負けのすばらしい踊りを披露



▲東和中による起業販売には工夫を凝らした多くの商品が並びました

歌 東和で「東和の秋まつり」 歌と踊りで実りの秋を満喫

秋の恒例イベント東和の秋まつり（同実行委員会主催）が11月1日、東和総合支所特設会場で開催されました。ステージ発表の部では、町内の各小中学校の児童生徒による合奏や太鼓演奏、文化協会の皆さんによる踊りのほか、ゲストを招いての歌謡ショーなどが行われました。また、秋晴れに恵まれた会場内には、農産物・林産物の販売や軽食バザー、東和中学校起業販売など多数のコーナーが設けられたほか、灯油券や地場産品が当たる抽選なども行われ、訪れた来場者で大盛り上がりとなりました。

登米で河北杯争奪登米地方囲碁大会 日ごろの鍛錬の成果を今こそ

河北杯争奪第20回登米地方囲碁大会が11月16日、登米公民館を会場に市内外から多くの囲碁愛好家が参加して開催されました。大会は各クラスとも参加者をランク別に3つのグループに分けた変則リーグ戦形式で、熱戦が繰り広げられました。また、大人に混じって小学生の参加もあり、大人顔負けの真剣な眼差しで対戦相手に挑んでいました。大会役員は「小学生は大人よりもずっと吸収力があるので、あつという間に強くなって大会のたびに驚かされます」と話していました。



▲多くの囲碁愛好家が参加し、熱戦を繰り広げました。



▲恒例となった「巨大かっぱ巻き」には250人以上が参加しました

中田で「なかだの秋まつり」 巨大なカップ巻に大歓声

第22回なかだの秋まつり（同実行委員会主催）が11月1日、2日の2日間、市役所中田庁舎を主会場に開催され、市内外から約14,000人が訪れました。会場では、農業祭・文化祭・菊花盆栽展のほか、野外ステージで柴田三兄妹津軽三味線ライブや爆笑!!ものまねステージが行われ、会場には拍手と笑い声があふれていました。親子連れなど250人以上が参加した「巨大かっぱ巻」では、見事114杯の巨大かっぱ巻が完成しました。また、農産物などの直売も行われ、多くの来場者でにぎわった2日間でした。

石越で「まるごといしこしまつり」 今年も大人気1,000人芋煮汁

まるごといしこしまつり（同実行委員会主催）が11月2日にチャチャワールドいしこしを会場として開催、市内外から約3,800人の人が訪れ、大いににぎわいました。まつりでは、パターゴルフ大会や商工まつり、リサイクルチャリティバザーなどさまざまなイベントが行われたほか、ステージでは伝統芸能の鳥舞などの披露や温泉宿泊券が当たるお楽しみ抽選会が行われました。まつりの目玉として定番となった1,000人大鍋での芋煮汁の無料提供にも長蛇の列ができ、瞬く間になくなりました。



▲直径約2杯の大鍋で作った1,000人分の芋煮汁が振る舞われました

トピックス **ぶらす**

10/27~28

大好評！「登米市の食材」

「登米おいしいもの市・秋の市」が10月27日、28日の両日、仙台市勾当台公園市民広場で開催されました。新米、大根、しいたけ、油ふ、漬物、登米産牛のくし焼きなど市内産の農林産物の販売や、郷土料理の「はっと汁」が無料で振る舞われました。また、地元産の新米などが当たる大抽選会も行われ、会場には多くの買物客が訪れていました。



▲新鮮な食材を求め、多くの買物客が訪れました

10/31

カボチャでランタン作製

ハロウィンパーティー（市国際交流協会主催）が10月31日、迫公民館で開催され、関係者と市民約130人が参加しました。パーティーは、料理などを一人一品持ち寄る「ポットラック」形式で開催。参加者は魔女や恐竜、侍などに仮装したり、大小さまざまなカボチャを使ってランタンを作ったりしながら、楽しいひとときを過ごしました。



▲持ち寄った料理を楽しみながら交流する参加者

11/1

疎開当時の思い出のメニュー

ヒストリーカフェ「食べてみよう！疎开学童が食べたもの」が11月1日、東和町の不老仙館で開催されました。これは、食事から地域の歴史を学ぼうと市歴史博物館が主催したもので、当日は地域の住民や疎開体験者などが参加し、疎開当時の話や、ジャガイモを混ぜたすいとん、大根の漬物など当時を再現したメニューの食事体験が行われました。



▲疎開当時の食事を通し交流を深める参加者

11/6

安心・安全な交通社会の実現を

交通ルールやマナーに対する意識の向上を目指し、交通事故を撲滅しようと11月6日、登米祝祭劇場で第40回宮城県交通安全県民大会が開催されました。式では交通安全作文の朗読や各種功労者の表彰が行われ、受賞者を代表して市交通安全指導員の菅原晃さん（石越）が「さらに精進を重ね、安全な交通社会の実現に努めたい」と述べました。



▲県内から多くの交通関係者が参加しました



市民の広場

ぼくとわたしの夢

No.44

スピードが武器のサッカー選手に

小学校4年生からスポーツ少年団でサッカーを始め、現在は仙台のジュニアユースチームに所属し、週に4回の練習をこなしている光晟君。ポジションはフォワードで、試合ではチームの得点源として活躍しています。

カップの日本代表を見て、自分もプロのサッカー選手になりたいと思ったそうです。「練習ではスピードでマークを振り払い、良いポジションでボールをもらえるように心掛けています。好きな選手は、どんな状況でもゴールを決めるヴィッセル神戸の大久保選手です」と、力強く話してくれました。



橋本 光晟君 (米山中2年)
(米山町斉藤・光幸さん方)

市民の広場のコーナーでは、掲載を希望する人や情報を募集しています。

広報広聴係まで情報をお寄せください。

○総務部市長公室広報広聴係

〒987-0511

登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1

☎0220(22)2090 FAX0220(22)9164

Eメール koho@city.tomeniyajp.jp

市民の広場の保護者名は、取材時に申し出のあった人の名前を掲載しています。

文芸

短歌

作品募集! ●1月号は俳句・川柳です。住所、氏名、電話番号を記入し、12月10日までご応募ください。なお作品にはすべてかなを振ってください。

●応募者多数の場合は抽選で掲載します。

秋の日のつるべ落としに日暮るるを

伊藤 泰子 (迫)

新米に野菜果物みな美味し

二ノ神 武志 (迫)

朝毎にうたいし孫の声聞きて

岩 渕 はる子 (中田)

米寿過ぎ復員の友集う宿

加美山 三郎 (米山)

つらき事苦しきことも多々あれど

阿部 ふみ子 (米山)

登校する男孫見送りて白鳥の

佐藤 よしの (石越)

白々と東和の里に満月の

佐藤 美穂子 (石越)

若き日の阿佐緒美し写し絵に

今野 春枝 (津山)

白壁の阿佐緒のやかた訪なひて

堀田 幸恵 (津山)

閑かなる白壁の家庭隅に

阿部 洋子 (津山)



ひめの 千葉 日萌乃ちゃん
(中田町加賀野二区)
平成19年10月16日生まれ
(1歳)
真一さんの長女

散歩にいったり犬や猫などを見たり、かくれんぼが大好きな日萌乃ちゃん。隠れると探しにきてもらうのを待っています。食べ物では好き嫌いが無く、なんでも食べる日萌乃ちゃんです。



じゅんと 菅原 潤人くん
(豊里町新町)
平成19年5月11日生まれ
(1歳)
隆三さんの長男

機関車の乗り物で遊ぶのが大好きな潤人くん。お気に入りの「お母さんといっしょ」が始まると、テレビの前で上手にダンスをします。食べ物ではトーマスのラムネがお気に入りです。

新刊紹介 = 登米図書館 = ☎0220(52)2316

■大人向け



実さえ花さえ

朝井 まかて／著

江戸・向嶋で種苗屋を営む若夫婦に、愛の試練が待ち受けていた。



オケ老人!

荒木 源／著

平均年齢世界最高齢の交響楽団が贈る。笑い、涙、サスペンスあり。



とんび

重松 清／著

いつか息子は自分の背中を乗り越えるだろう。魂が涙する父親物語。

■子ども向け



中学時代にしておく50のこと

中谷 彰宏／著

境目のない中学時代だからこそ楽しくて何でも遊びにできるんです。



いちばんたいせつなこと

ドロシー・ロー・ノルト／著

「子どもが育つ魔法の言葉」の著者が子どもたちに贈る16のメッセージ



にげだしたてじなのたね

田中 友佳子／著

楽しい手品がつぎつぎ登場! ゆかいて心温まる友情物語です。

※たくさん新刊が入りました。詳しくは市ホームページをご覧ください。

わげすたづ わげすたづ わげすたづ わげすたづ

まちの **若い衆**

No.44



長尾 美幸さん (24歳)

ながお みゆき
豊里町鴉波・うお座

トイカメラで各地の風景や建物の
写真を撮る撮影旅行をしてみたい

★身長と血液型 150センチ
でO型です。
★現在は みやぎ登米農業協同組合南方支店に勤務して3年目になります。所属は金融課で、出納業務や窓口業務を担当しています。出納業務ではお客さまからお預かりした

お金を扱うので決してミスがないように、窓口業務では丁寧な対応をするように心掛けています。
★自分の性格 負けず嫌いだと思っています。
★休日 は 家族や友達と買物に行ったり、映画を見たりしています。

★趣味は トイカメラで空や建物の風景を撮ったり、音楽鑑賞などをしていきます。
★理想の男性像 自分の父親のような何事にもまじめに取り組む人が理想です。
★今やってみたいこと 最近民謡を習い始めました。今はまだ「さんさ時雨」しか歌えませんが、練習してもっと多くの曲を歌えるようになりたいです。また、三味線にも挑戦してみたいと思っています。

わが家のアイドル



佐々木 美聡ちゃん

(石越町寺山)
平成17年12月4日生まれ
(2歳)
裕明さんの長女

2人のお兄ちゃんと一緒に遊んだり絵を描いたりするのが大好きな美聡ちゃん。いつもノートにいろいろな絵を描いています。お気に入りには犬のぬいぐるみで、寝るときももちろん一緒です。



佐藤 明日夢くん

(津山町黄牛町)
平成18年6月30日生まれ
(2歳)
良紀さんの次男

お父さんに作ってもらった砂場で遊んだり、アンパンマンやディズニーのテレビを見たりするのが大好きな明日夢くん。食べ物ではチーズの入ったサンドイッチが大好きです。

一人で悩まずに相談を

12月の「こころの相談」

- 眠れない、気分が落ち込む、イライラする
- 家庭や職場、学校などで対人関係がうまくいかない
- 人との付き合いがあっくうだ
- お酒がやめられない
- 物忘れが気になる、認知症による問題行動でどうしたらいいかわからない
- 精神疾患を抱えている本人や家族、関係者など

相談は無料で、秘密は守られます。
また、事前に申し込みが必要です。 ※居住地以外のところでも相談できます。

地区	日(曜)	場所	担当	申し込み電話番号
東和	26日(金)	東和地域福祉センター	カウンセラー	☎ 0220 (53) 4112
中田	24日(水)	中田保健福祉会館	カウンセラー	☎ 0220 (34) 2311
豊里	5日(金)	豊里健康管理センター	カウンセラー	☎ 0225 (76) 4113
米山	18日(木)	米山総合支所	家族相談士	☎ 0220 (55) 2112
石越	11日(木)	石越総合支所	医師	☎ 0228 (34) 2112
南方	11日(木)	南方保健センター	家族相談士	☎ 0220 (58) 2113
	16日(火)		医師	
津山	16日(火)	津山ふれあいセンター	医師	☎ 0225 (61) 5011

不明な点は、各総合支所市民福祉課 健康づくり係までお問い合わせください

母子健康手帳の交付 と 妊産婦相談

毎週月曜日
8:30 ~ 11:30

母子健康手帳は原則として、住所地の総合支所市民福祉課健康づくり係で交付します。

上記以外においでの際は、事前にご連絡ください。

また、妊産婦の健康相談も行っています。気軽にご相談ください。電話での相談も、随時受け付けています。



障害者就業相談のお知らせ

【相談日】 12月24日(水)

【場所・時間】

- ▶津山総合支所：午前9時30分～正午
- ▶県東部保健福祉事務所 登米地域事務所：午後1時30分～3時

【申し込み】 予約制です。お住まいの総合支所市民福祉課市民福祉係へお申し込みください。

【問い合わせ】

- ▶福祉事務所生活福祉課 障害福祉係
☎ 0220 (58) 5552
- ▶各総合支所市民福祉課 市民福祉係



大切な“いのち”を守るため 献血にご協力ください



12/5(金)	登米総合体育館	10:00~12:00	全血
	津山総合支所	14:00~16:00	
8(月)	中田保健福祉会館	10:15~12:00	全血
	みやぎ生協 加賀野店	13:30~16:00	
11(木)	県登米合同庁舎	10:15~12:00	全血
	みやぎ生協 加賀野店	14:00~16:00	
28(日)	ロックシティ佐沼	10:00~12:00	全血
	ショッピングセンター	13:00~16:00	
1/3(土)	ヨークベニマル佐沼店	10:00~12:00	全血
		13:00~16:00	

【問い合わせ】 市民生活部健康推進課 健康推進係
☎ 0220 (58) 2116

インフルエンザを予防しましょう

インフルエンザにかかると、急な発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が強く、普通の風邪と同様に、のどの痛み、鼻水などの症状も見られます。

高齢者や小児、呼吸器や心臓などに慢性の病気がある人は、症状が重くなる場合もありますので、十分注意が必要です。

インフルエンザの予防は、手洗い、うがいが基本です。流行の時期になりましたので、自分でできる予防を心掛けましょう。

予防するために

- ①外出後は手洗い・うがいをしましょう
- ②睡眠を十分に取り、バランスよく栄養を取りましょう
- ③重症化防止のために予防接種を受けましょう
- ④流行時には人ごみを避けるようにしましょう
- ⑤大勢の中に入るときはマスクを着用しましょう
- ⑥適度な温度・湿度を保ちましょう

12月・1月の休日当番医・歯科休日当番医

月 日	休日急患当番医 ☎ 0220 (22) 2084 (医師会)			歯科休日当番医		
12/7 (日)	市立よねやま病院	米山町	☎ 0220 (55) 2011	市立よねやま病院	米山町	☎ 0220 (55) 2011
14 (日)	おおたおおたにクリニック	中田町	☎ 0220 (35) 1161	ごとう歯科医院	迫町	☎ 0220 (22) 7111
21 (日)	桜井医院	登米町	☎ 0220 (52) 3936	なかつやま歯科医院	米山町	☎ 0220 (55) 2755
23 (祝)	遊佐内科胃腸科医院	迫町	☎ 0220 (22) 2177	よねやま歯科診療所	米山町	☎ 0220 (55) 3300
28 (日)	川村医院	登米町	☎ 0220 (52) 2166	佐藤歯科医院	豊里町	☎ 0225 (76) 0220
29 (月)				さくら歯科医院	迫町	☎ 0220 (22) 2210
30 (火)				津山歯科診療所	津山町	☎ 0225 (68) 3244
31 (水)	上杉皮膚科医院	迫町	☎ 0220 (21) 1380	ちば歯科クリニック	迫町	☎ 0220 (22) 6007
	大坂医院	中田町	☎ 0220 (34) 6625			
1/1 (祝)	佐藤医院	南方町	☎ 0220 (58) 2058	ホワイト歯科	迫町	☎ 0220 (22) 8145
	佐幸医院	迫町	☎ 0220 (22) 7003			
2 (金)	新田診療所	迫町	☎ 0220 (28) 3398	高橋歯科医院	登米町	☎ 0220 (52) 3210
	菅原内科クリニック	迫町	☎ 0220 (22) 0888			
3 (土)	島医院	南方町	☎ 0220 (29) 6056	高橋歯科クリニック	迫町	☎ 0220 (22) 7411
	二瓶内科胃腸科医院	迫町	☎ 0220 (22) 6508			
4 (日)	市立豊里病院	豊里町	☎ 0225 (76) 2023	市立豊里病院	豊里町	☎ 0225 (76) 2023
○診療時間 9:00~17:00 ○休日・夜間診療案内 ☎ 0229 (24) 2267 (24時間)				○診療時間 9:00~17:00 【問い合わせ】※月曜~金曜日(休日を除く) 市民生活部健康推進課 ☎ 0220 (58) 2116		

※当番医は、変更になることがあります。各医療機関に確認の上、受診してください。



宮城県 こども夜間 安心コール

夜間の子どもの病気に、経験豊富な看護師が電話でお答えします。
 以前は休日のみの相談受け付けでしたが、9月からは毎日受け付けています。

こんなとき

- ◇お子さんの急な発熱
- ◇お子さんの急なケガ

すぐに受診させた方が良いのか、
 様子を見ても大丈夫なのか迷ったときに。



相談電話

- ◇プッシュ回線の固定電話、携帯電話からは局番なしで
#8000
- ◇プッシュ回線以外の固定電話、PHSなどからは
022 (212) 9390

- ◆相談日時 毎日午後7時から午後11時まで
- ◆相談対象者 おおむね15歳までの子どもの保護者など

※相談はあくまでも助言であり、診療は行いませんのでご了承願います。



【問い合わせ】 県保健福祉部医療整備課 地域医療班 ☎022 (211) 2622



佐々木美月ちゃん
(南方町北本郷・真美さん)



高橋 桂ちゃん
(南方町新高石・幸枝さん)



狩野 春香ちゃん
(南方町山成・勝則さん)



千葉 雄翔くん
(南方町南大畑・慶信さん)



伊藤 遙くん
(米山町平埜・俊さん)



小原 安珠ちゃん
(米山町今泉・文典さん)



柴崎 拓真くん
(南方町南大畑・雅伸さん)



千葉 秀くん
(南方町北大畑・和幸さん)



渡邊 美咲ちゃん
(南方町裏大岳・克昭さん)



後藤 桃佳ちゃん
(迫町光ヶ丘東・正一さん)



千葉 桐耶くん
(迫町萩洗・裕二さん)



加藤 美桜ちゃん
(米山町新町・晋さん)



伊藤 寧音ちゃん
(米山町後小路・勇さん)



佐々木蓮華くん
(米山町六軒屋敷・聡正さん)



高橋昇太郎くん
(迫町駒木・淳一さん)



及川 龍樹くん
(迫町三方島・宗徳さん)



佐藤 百佳ちゃん
(迫町小友・幸恵さん)



高橋 大翔くん
(迫町板橋・清和さん)



豊原 美桜ちゃん
(迫町萩洗・一男さん)



菅原 栄斗くん
(迫町新町・栄治さん)



千葉 柊くん
(迫町大浦・健さん)



四十九院香凛ちゃん
(迫町駒林・薫さん)



菅原 楓ちゃん
(迫町八幡・靖弘さん)



上野 穂華ちゃん
(迫町永田・誠さん)

11月12日までの3歳児健診(3歳6カ月~7カ月児)でむし歯がなかった子は、市内3地区で40人中24人でした

※ () 内には申し出があった保護者の名前を掲載しています。

県東部保健福祉事務所 12月の相談

①アルコール家族教室

【日時】 12月17日(水)

午後1時30分～3時30分

【対象者】 飲酒の問題で悩んでいる
家族、アルコール依存症について
知りたい家族

【テーマ・内容】 家族の病気

②精神保健福祉相談

【日時】 12月19日(金)

午後1時30分～3時

【対象者】 心の悩み、ストレスなど
を抱えた本人・家族・関係者など

①・②共通事項

【場所】 県東部保健福祉事務所

登米地域事務所

【相談料】 無料

【予約方法】 事前に電話で予約して
ください。

【問い合わせ】

県東部保健福祉事務所

登米地域事務所 母子・障害班

☎ 0220 (22) 6118

県在宅緩和ケア 支援センターの相談

地域で生活しているがん患者やその
家族の日常生活での悩みや不安に対
して、経験豊富な看護師が相談支
援などを行っています。

【受付日時】 月曜日～金曜日の午前
10時～午後4時(祝日は除く)

※面談による相談は、原則として
予約が必要です。



【相談先・問い合わせ】

県在宅緩和ケア支援センター

(県立がんセンター内)

☎ 022 (381) 1159

県難病相談支援センター の相談

地域で生活する難病患者やその家
族の日常生活での悩みや不安に対
して、看護師や難病患者会の相談員
(ピアカウンセリング)が相談支援な
どを行っています。

【受付日時】 月曜日～金曜日の午前
10時～午後5時(祝日は除く)、毎
月第1日曜日と第3土曜日の午前
11時～午後4時

※面談による相談は、原則として
予約が必要です。

【相談先・問い合わせ】

県難病相談支援センター

(仙台市交通局本局庁舎4階)

☎ 022 (212) 3351

12月のパソコン相談室

◆パソコン教室

ワードで年賀状、エクセルで健康
管理グラフを作ってみませんか。

①ワード

【日時】

12月9日(火) 午前10時～正午

12月12日(金) 午後7時～9時

②エクセル

【日時】

12月16日(火) 午前10時～正午

12月19日(金) 午後7時～9時

①・②共通事項

【場所】 迫にぎわいセンター

【受講料】 2,000円

【申込方法】 電話

【申込期限】 受講日前日

◆無料相談室

パソコンで困っている人のため、
無料相談会を開催します。パソコン
の持ち込みが可能な人は、持参して
ください。

【日時】 12月21日(日)

午前10時～正午

【場所】 津山公民館

【申込期限】 5日前まで

◆出前コース

都合の良い時間に合わせて、あな
たの自宅にパソコンを持参して相談
に応じます。

【料金】 1コース5,000円(4時間)

【申し込み・問い合わせ】

NPO法人パソコン・ネット・みやぎ

☎ 0220 (21) 5262



登米祝祭劇場 12月のイベント情報

◆伊藤節子・季節の調べ～書とさし
絵のコラボレーション～

【日時】 12月2日(火)～26日(金)
午前10時～(最終日は正午まで)

【場所】 レストラン蓮房

【入場料】 無料

【問い合わせ】 登米祝祭劇場

☎ 0220 (22) 0111

◆第10回記念登米市美術協会展

【日時】 12月2日(火)～7日(日)
午前9時30分～

【場所】 小ホール

【入場料】 無料

【問い合わせ】 登米祝祭劇場

☎ 0220 (22) 0111

◆第7回和太鼓フェスティバルと
め

【日時】 12月7日(日)

午後0時30分～

【場所】 大ホール

【入場料】 前売り：大人=1,500円、
小中学生=500円

【問い合わせ】 実行委員会

☎ 0225 (76) 0838

◆第14回登米市合唱祭

【日時】 12月14日(日)

午後1時30分～

【場所】 大ホール

【入場料】 無料

【問い合わせ】 登米市合唱連盟

☎ 0220 (34) 2005

手話サークルの会員募集

市内で活動している手話サークル「パール」では、会員を募集しています。耳が聞こえる人も聞こえない人も、手話に興味のある人ならどなたでも参加できます。気軽にご参加ください。

【活動日時】 金曜日の午前9時30分～11時30分（月3回）

【場所】 南方公民館

【会費】 年1,000円（冷暖房費）

【講師】 登米市手話通訳相談員

【申込方法】 電話または電子メール

【申し込み・問い合わせ】

手話サークルパール

▶電話の場合：事務局＝二階堂

☎ 0228 (34) 3905

※午後9時までにおかけください。

▶電子メールの場合：代表＝開発

✉ syuwapearl@yahoo.co.jp

白鳥スマイルキッズデー 参加者募集

親子で体験保育ができます。

また、専任保育士が育児相談にも応じます。

【日時】 12月19日（金）

午前9時30分～11時

【場所】 白鳥保育園（南方町）

【対象者】 1歳～就学前の児童

【内容】 リズム遊び

【申込方法】 電話

【申し込み・問い合わせ】

白鳥保育園

☎ 0220 (58) 2681

※随時、受け付けています。

登米市国際まつり& Christmas party

民俗芸能や郷土料理などを通して異なった文化を理解するとともに、交流と親睦を深め多文化共生のまちづくりを考えることを目的に、国際まつりを開催します。

【日時】 12月14日（日）

午前10時～午後2時30分

【場所】 迫公民館 2階 軽運動場・大会議室

【テーマ】 友情の輪

【参加費】 無料

【内容】 ▶多文化共生を考えるシンポジウム▶芸能鑑賞▶ゲーム大会▶子どもたちによるプレゼント交換▶ポットラックパーティー▶市国際交流協会事業パネル展示コーナー▶県国際交流協会、国際協力機構活動紹介コーナーなど

【その他】 ポットラックパーティーと子どもたちによるプレゼント交換がありますので、一人一品の料理とプレゼントを持参してください。

【問い合わせ】

市国際交流協会事務局

☎ 0220 (52) 2144

※月曜・水曜・金曜日の午前9時～午後4時



◀ 昨年の様子

「X'mas^{x2} あつまれ！ 元気っこ」参加者募集

子育てサポーター「てって」では、子育て支援事業の一環として、未就学児を対象としたイベントを開催します。

【日時】 12月23日（祝）

午前10時～11時30分

【場所】 迫公民館 軽運動場

【内容】 手遊び、リトミック、読み聞かせ、ゲームなど

【募集人員】

親子30組（兄弟姉妹での参加可）

【参加費】 子ども1人につき100円

【申込方法】 電話

【申込期限】 12月15日（月）

【申し込み・問い合わせ】

子育てサポーター「てって」

（事務局＝市社会福祉協議会迫支所内）

☎ 0220 (22) 3537



12月10日から16日までは 「北朝鮮人権侵害問題啓発 週間」です

毎年12月10日から16日は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。

北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社会と連携しつつ北朝鮮当局による人権侵害問題の実態を解明し、抑止することを目的として制定されたものです。

【問い合わせ】

▶佐沼警察署 ☎ 0220(22)2121

▶登米警察署 ☎ 0220(52)2121

裁判所からのお知らせ

12月の広報テーマは「裁判員制度に対する疑問にお答えします」です。詳しくは、最高裁ホームページをご覧ください。

【URL】 <http://www.courts.go.jp/>

【問い合わせ】

▶仙台地方裁判所事務局総務課

☎ 022 (222) 6111 内線3015

▶仙台家庭裁判所事務局総務課

☎ 022 (222) 4165 内線4613

社会保険相談所開設

健康保険、厚生年金保険、国民年金など社会保険の全般についての相談に応じます。

【12月の開設日】 12月17日（水）

【時間】 午前9時10分～正午、午後1時～3時30分

【場所】 迫公民館

【問い合わせ】

古川社会保険事務所

☎ 0229 (23) 1203

国民年金だより

国民年金の給付について ～老齢基礎年金～

老齢基礎年金は、保険料納付要件を満たした人が、65歳から生涯受け取ることができる年金です。

◆受給するための要件

老齢基礎年金を受けるためには、保険料を納めた期間、保険料を免除された期間、合算対象期間とを通算した期間が、原則25年（300月）以上あることが必要です。

※「保険料を納めた期間」には、国民年金保険料を納付した期間のほか、厚生年金や共済組合に加入していた期間、厚生年金や共済組合の加入者に配偶者として扶養されていた期間（第三号被保険者）があります。

※「合算対象期間」は、年金額には反映しない、いわゆる「カラ期間」と呼ばれるもので、国民年金に任意加入できる人が任意加入しなかった期間などがあります。

◆年金額（年額）＝満額 792,100円

20歳から60歳までの40年間保険料を納めた場合に満額の年金が支給され、保険料の未納期間などがある場合は、その月数に応じて減額されます。また、付加保険料（月額400円）を納付していた月があるときは、付加年金として「納付した月数×200円」が加えられます。

※厚生年金や共済組合に加入していた期間がある場合には、老齢基礎年金に老齢厚生年金や退職共済年金が上乗せされて支給されます。

◆繰り上げ・繰り下げ請求

老齢基礎年金は原則65歳からですが、60歳から70歳までの間、本人の希望により受給の開始を早めたり、遅らせたりすることができます。請求の時期により年金額は減額または増額され、以後生涯を通してその額になりますので、よく考えて行う必要があります。

国民年金保険料は納めた人の税金の控除対象になります

国民年金保険料は、被保険者本人だけではなく、その世帯の世帯主および配偶者も連帯して納付する義務があり、家族の国民年金保険料を納付した場合は、その納付額の全額が納付した人の所得税などの控除対象になります。1月から12月までの間に納付した保険料が申告の対象になりますので、未納になっている保険料があるときは年内に納付するようにしましょう。

申告の際には、納付した国民年金保険料額を証明する書類が必要です。11月初旬に送付されている「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」には、その年の1月から9月末までの間に納付された保険料額と、年内に納付が見込まれる場合の見込み額が記載されています。後から納付した保険料がある場合には、納付した際の領収証書を添付して申告してください。

詳しくは、国民年金保険料の納付については、古川社会保険事務所国民年金保険料課・業務課へ、「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」については、控除証明書専用ダイヤル「0570（070）117」（IP電話からは「03（6748）8882」）へお問い合わせください。

【問い合わせ】 市民生活部国保年金課 ☎ 0220（58）2166
古川社会保険事務所国民年金業務課 ☎ 0229（23）1203

暮らしの 情報

宮城いきいき学園 平成21年度入学生募集

【対象】

県内在住のおおむね60歳以上の人

【場所】

①仙南校②大崎校③石巻校
④気仙沼・本吉校⑤登米・栗原校
※通学可能であれば、どの校への申し込みも可

【学習期間】

年間22回程度（2学年制）

【募集人員】

各校40人

【内容】

生きがいと健康づくりを目指して、地域活動の指導者として必要な内容・方法を体験を通して身に付けます。

【入学金】

5,000円

【受講料】

年間15,000円

【申込方法】

申込書に必要事項を記入の上、郵送でお申し込みください。申込書は、県社会福祉協議会のホームページからダウンロードするか、県社会福祉協議会に請求してください。迫公民館、登米市各総合支所などでも入手できます。

【申込期限】

平成21年1月30日（金）必着

【申し込み・問い合わせ】

県社会福祉協議会

いきがい健康課

〒980-0011

仙台市青葉区上杉1-2-3

宮城県自治会館3階

☎ 022（225）8477

【URL】 <http://www.miyagi-sfk.net/>



平成21年度 学童クラブの利用児童を募集します

【対象児童】 平成21年4月1日現在で、昼間、保護者が仕事、疾病、その他の理由により、自宅において適切な養育が受けられない市内小学校に在籍する原則として1年生から3年生までの児童

【利用児童を募集する学童クラブ名・設置場所・申込先・定員・問い合わせ】

学童クラブ名	設置場所・申込先	定員	問い合わせ	不在時間問い合わせ	
迫学童クラブ	迫児童館	50人	0220 (22) 2524		
北方学童クラブ	北方公民館	20人	0220 (22) 0205	迫児童館	0220 (22) 2524
石越放課後児童クラブ	石越保健センター	20人	0228 (34) 3110		
登米学童クラブ	登米児童館	25人	0220 (52) 2246		
げんきっこクラブ米谷	米谷児童活動センター	20人	0220 (42) 3130	東和子育て支援センター	0220 (42) 2230
げんきっこクラブ錦織	錦織ふれあいセンター	15人	0220 (44) 3207		
げんきっこクラブ米川	米川児童活動センター	15人	0220 (45) 2555		
津山学童クラブ	津山林業総合センター	20人	0225 (68) 3363		
中田学童クラブ	中田児童館	50人	0220 (35) 2525		
上沼学童クラブ	上沼児童活動センター	30人	0220 (34) 2007	中田児童館	0220 (35) 2525
石森学童クラブ	石森小学校 (学童クラブ室)	20人	0220 (34) 2646		
宝江学童クラブ	宝江小学校 (学童クラブ室)	20人	0220 (34) 8802		
米山放課後児童クラブ	米山児童館	30人	0220 (55) 2313		
豊里児童クラブ	豊里多目的研修センター	40人	090 (7070) 5256	豊里子育て支援センター	0225 (76) 4731
南方放課後児童クラブ	南方子育てサポートセンター	35人	0220 (58) 5558		

【開所日】 月曜日～土曜日、学校長期休業日など
※日曜日・祝日・年末年始 (12月29日～1月3日)、災害発生時などは閉所となります。

【保育料】 無料 (教材費やおやつ代などの活動経費実費は、別途負担をお願いします)

【提出書類】

- ①利用申請書②就労証明書③家族調書④申立書など
- ※提出書類の用紙は、学童クラブなどの設置場所に備え付けてあります。
- ※現在学童クラブを利用している児童も、あらためて申請が必要です。

【申込期間】 12月8日 (月)～26日 (金)

※祝日を除く月曜日から土曜日までの午前9時から午後6時まで

【利用決定】 入所審査会で書類審査を行い、2月末日までに郵送などで通知する予定です。

※申込者が定員を超えた場合は、しばらくの間、利用をお待ちいただくことになります。

【保護者会活動】 利用する児童の保護者の皆さんに、保護者会への加入をお願いしています。クラブ事業への協力や学童クラブ活動経費の集金などが、保護者会活動となります。

～製造事業所の皆さんへ～ 統計調査にご協力ください

平成20年工業統計調査を12月31日現在で行います。

調査の実施に当たっては、12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。

なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確な記入をお願いします。

経済産業省・宮城県・登米市

年末年始の交通事故防止運動

～12月15日から1月15日まで～

この時期、忘年会、新年会など飲酒の機会が多くなることに加え、休暇を利用した帰省、初詣で、行楽行事など、車を利用する機会が多くなり、交通事故が多発します。

「冬道の安全運転1・2・3運動」と連動させ、交通事故防止に努めましょう。

- 1割、スピードダウンしよう
- 2倍、車間距離を取ろう
- 3分、早めに出発しよう



学校支援ボランティア募集

文部科学省が新たに推進する委託事業「登米市東和地区学校支援地域本部」が、10月に設立されました。

この「学校支援本部事業」とは、地域の住民が「子どもたちの教育のために役立ちたい」という思いを持って、ボランティアで学校のさまざまな活動に協力していくものです。

ボランティアの主な活動場所は東和中学校区になりますが、東和地区に限らず市内全域から広くボランティアバンクへの登録者を募集します。

学校支援ボランティアバンクへの登録に当たっては、特別な資格要件はありません。この機会に、自分の得意な分野などを学校活動にぜひ生かしてみませんか。

ご協力いただける人は、事務局までお問い合わせ願います。

【活動場所】 東和中学校ほか

【内容】 学習支援活動、部活動指導・補助、登下校時の安全確保、学校行事への協力、環境整備・清掃、技術指導など

【問い合わせ】

東和地区学校支援地域本部
(事務局＝東和勤労青少年ホーム内)

☎ 0220 (53) 3003 (FAX兼)

石ノ森章太郎記念館「鎌田洋次」展

郷土が生んだ漫画家シリーズ第2弾として、中田町出身の漫画家でスポーツ漫画の奇才、鎌田洋次さんの特別企画展を開催します。

スポーツ魂を揺さぶる鎌田作品の原画の数々をお楽しみください。

【期間】 12月20日(土)～平成21年2月22日(日)

【時間】 午前9時30分～午後5時
※入館は午後4時まで

【入館料】 大人＝700円、中学生＝

500円、小学生＝200円

※小学生未満、身体障害者(介護人1人同行可)は無料

※20人以上の場合、団体割引あり

【休館日】 毎週月曜日(月曜が休日

の場合は翌日)、12月29日～1月1日

【問い合わせ】

石ノ森章太郎ふるさと記念館

☎ 0220 (35) 1099

平成21・22年度 競争入札参加資格審査の申請受付、小規模工事等契約希望者登録制度の実施について

①平成21・22年度登米市競争入札参加資格審査の申請受付を開始

登米市が発注する工事や業務等に係る競争入札参加を希望する場合は、資格審査を受け、競争入札資格者名簿への登録が必要になりますので、要領などを確認の上、申請してください。

【登録区分】

建設工事、建設関連業務、物品の製造・販売等、役務の提供等

【提出書類】 登米市様式一式

※登録区分ごとに各1部提出のこと。

※登録区分ごとに色指定するA4版フラットファイルに綴じ込むこと。

⇒建設工事＝水色、建設関連業務＝赤色、物品の製造・販売等＝黄色、役務の提供等＝緑色

②登米市小規模工事等契約希望者登録制度を実施

市内業者の受注機会の拡大を図る目的で、新たに「小規模工事等契約希望者登録」の申請を受け付けます。「小規模な建設工事や修繕」の受注を希望する人は、要領などを確認の上、申請してください。

【対象工事など】 小規模な建設工事や修繕で、内容が軽易で履行の確保が容易なもの、かつ、1件の工事金額が50万円以下のもの

【登録資格】

▶市内業者(登米市内に主たる事業所または住所を有している人)

▶上記①の競争入札参加資格審査申請をしない人

▶希望業種を履行するために必要な資格・免許を有している人

▶市税を完納している人 など

【提出書類】 小規模工事等契約希望者登録申請書(様式第1号)など

※詳細については、申請要領で確認してください。

①・②共通事項

【資格の有効期限】 平成21年4月1日から23年3月31日まで(2年間)

※ただし、随時申請により平成21年4月1日以降に申請した人は、それ以降の認定日からの登録となります。

【申請要領などの貸し出し】 申請要領と登米市様式は、市ホームページに掲載しています。申請様式などは、市ホームページからダウンロードするか、総務課(契約係)窓口にて準備する関係書類の貸し出しを利用し、作成してください。

【受付期間】 12月10日(水)から平成21年2月13日(金)まで

※土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く

【受付時間】 午前9時～11時30分、午後1時～4時

【受付場所・申請方法】 総務部総務課契約係(市役所迫庁舎2階)へ持参してください。郵送での申請はできません。

【問い合わせ】

総務部総務課 契約係 ☎ 0220 (22) 2091

12月の 多重債務110番の日

借金問題は必ず解決できます。一人で悩まず、まず相談を。

【日時】 ▶ 1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月) 午前9時～午後8時 ▶ 21日(日) 午前9時～午後5時

【相談電話番号】

☎ 0220 (34) 2308 ※直通

【問い合わせ】

産業経済部商工観光課
商業振興係

☎ 0220 (34) 2734



歴史博物館の 臨時休館について

歴史資料の消毒作業と整理作業のため、臨時休館します。

【休館期間】 12月13日(土)～平成21年1月13日(火)

【問い合わせ】

歴史博物館 ☎ 0220 (21) 5411

迫図書館 12月のおはなし会

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。

【日時】 12月6日(土)、20日(土) 午前10時30分～

【場所】 迫図書館 2階研修室

【問い合わせ】

迫図書館
☎ 0220 (22) 9820



12月の 夜間相談窓口開設日

納税に関する相談に応じます。

【日時】 12月25日(木) 午後8時まで

【場所】 市役所迫庁舎1階 総務部税務課 徴収対策係

【問い合わせ】

総務部税務課 徴収対策係
☎ 0220 (22) 2169

消費生活出前相談

各総合支所で、消費生活上のトラブルや多重債務などの相談に応じ、解決の手伝いをします。

【12月・1月の相談日】

開催日		開催場所
12月	1月	
4日(木)	6日(火)	迫総合支所
8日(月)	8日(木)	南方総合支所
11日(木)	15日(木)	登米総合支所
15日(月)	19日(月)	東和総合支所
18日(木)	22日(木)	豊里総合支所
22日(月)	23日(金)	米山総合支所
24日(水)	26日(月)	石越総合支所
25日(木)	29日(木)	津山総合支所

【時間】 午後1時30分～4時30分

【相談料】 無料

※相談日以外は、商工観光課で消費生活相談員が応じています。

【問い合わせ】

産業経済部商工観光課
商業振興係
☎ 0220 (34) 2734

お知らせの 問い合わせ先

登米市役所	☎ 0220 (22) 2111
迫総合支所	☎ 0220 (22) 2213
登米総合支所	☎ 0220 (52) 2111
東和総合支所	☎ 0220 (53) 4111
中田総合支所	☎ 0220 (34) 2311
豊里総合支所	☎ 0225 (76) 4111
米山総合支所	☎ 0220 (55) 2111
石越総合支所	☎ 0228 (34) 2111
南方総合支所	☎ 0220 (58) 2111
津山総合支所	☎ 0225 (68) 3111

12月の納税 など

市県民税	第4期
国民健康保険税	第7期
介護保険料	第7期
後期高齢者医療保険料	第6期

納期限 1月5日(月)

※年金天引きの人は含まれません。
※口座振替の人は、通帳の残高を確認してください。

登米市のデータ

人口・世帯数
(平成20年10月末現在)

地区	世帯数	人口		
		男	女	計
迫	7,246	10,549	11,292	21,841
登米	1,819	2,629	2,917	5,546
東和	2,507	3,732	3,915	7,647
中田	4,637	7,966	8,417	16,383
豊里	2,011	3,380	3,541	6,921
米山	2,853	5,101	5,411	10,512
石越	1,583	2,782	2,890	5,672
南方	2,504	4,417	4,746	9,163
津山	1,216	1,914	2,040	3,954
合計	26,376	42,470	45,169	87,639

編集室から

▶ 年末年始は忘年会や新年会でお酒を飲む機会が増えます。当然ですが飲んだら車は絶対運転してはいけません。また外出の際は、道路の凍結などに十分注意しましょう。
▶ 今年を振り返ると広報1年目の私にとっては初めての連続で、時間が過ぎるのがとても早かったように思います。来年も忙しさに負けず、愛読される広報づくりを目指していきたいと思っています。(猪股)

トレーニングルーム利用者講習会

◆なかだアリーナ

【講習会日時】

12月19日(金) 午後7時～

【定員】 50人(要予約)

【受付開始】 12月2日(火)

【申し込み・問い合わせ】

なかだアリーナ
☎ 0220 (34) 7302

◆とよま蔵ジウム

【講習会日時】

1月13日(火) 午後7時～

【定員】 20人(要予約)

【受付開始】 12月16日(火)

【申し込み・問い合わせ】

とよま蔵ジウム
☎ 0220 (53) 1155

市からの お知らせ

市営住宅入居者募集

◆迫梅ノ木住宅 3棟102号

(迫町佐沼字八幡一丁目6番地1)

募集戸数 1戸 (3LDK)

家賃月額 19,400円～32,200円

駐車場 なし

◆中田加賀野住宅17号

(中田町石森字加賀野一丁目12番地3)

募集戸数 1戸 (4DK)

家賃月額 22,900円～37,900円

駐車場 あり

【募集対象者】

現に住宅に困っている世帯

※各住宅を重複して申し込みすることはできません。

【入居資格】

①入居収入基準が20万円以下であること (小学校就学前の子どものいる世帯については26.8万円以下)。※収入基準の算出は、入居予定者の合計所得から世帯主以外の入居予定者一人につき38万円を控除し、12カ月で除した金額。

②同居する親族がいること (婚姻予定も可)。

※原則として単身での入居はできませんが、60歳以上の人 (ただし、特例として平成18年4月1日現在で50歳以上の人も可)、身体障害者 (1～4級)・精神・知的障害者の人は単身入居することができます。詳細については、お問い合わせください。

③入居者全員に市税の滞納がない

こと。

④現に市営住宅に入居している人は、申し込みできません。

⑤申込者または同居予定者が暴力団員でないこと。

□共通事項

【申し込み】 各総合支所地域生活課 産業建設係

【申込期限】 12月15日 (月)

【問い合わせ】

建設部建築住宅課 住宅管理係

☎ 0220 (34) 2316

ふれあい交流パーティー 参加者募集

市では、独身の男女に出会いの場を提供するとともに、結婚のきっかけづくりの支援を図ることを目的として「ふれあい交流パーティー」を開催します。

【日時】 平成21年1月11日 (日)

午後0時30分～4時

【場所】 迫公民館2階 大会議室

【参加資格】 市内に居住または通勤する人、もしくは結婚して登米市に居住したいと思っている25歳から40歳ぐらいまでの独身男性・女性で、この企画で出会いを求めている人

【募集人員】 男女各15人 (先着順)

※最小敢行人数=男女各5人

【内容】 ローテーショントーク、簡単なゲームなどでの交流

【参加費】

男性=2,000円、女性=1,000円

【事前講演会】 ふれあい交流パーティー参加者を対象に、12月23日 (祝)午後1時から迫公民館2階大会議室で開催します。

【応募方法】 任意の様式に住所、氏名、性別、年齢、生年月日、電話番号、職業、事前講演会参加の有無を記入の上、ふれあい交流パーティー参加希望と明記し、企画部企画振興課 (市役所迫庁舎2階)へ直接または郵便、ファクシミリ、電子メール、電話のいずれかでお

申し込みください。

【応募締切】 12月15日 (月)

【応募先・問い合わせ】

企画部企画振興課 企画調整係
〒987-0511

登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1

☎ 0220 (22) 2147

FAX 0220 (22) 9164

☒ kikakushinko@city.tome.miyagi.jp

るるば「パソコン講習会」 受講生募集

市民のIT技術向上を目的としてパソコン講習会を開催します。

◆文書作成 (ワード) 初級講座

【日時】 12月24日 (水)～26日 (金)
午後7時～9時

【場所】 南方住民情報センター「るるば」(市役所南方庁舎内)シアターホール

【内容】 文書作成ソフト (ワード) の基本用語、基本操作、文書作成などを中心に、初級操作を勉強します。

【定員】 18人 (先着順)

【受講資格】 市内に在住または勤務している人で、入門講座を受講した人または同程度の知識のある人 (マウス操作や文字の入力ができる人)

【参加費】 1,000円程度 (テキスト代)

【受け付け】 12月10日 (水)

午前10時から電話受け付け開始

【申し込み・問い合わせ】

南方住民情報センター「るるば」

☎ 0220 (58) 5557

▶開館日=火曜日～日曜日・祝日の午前9時～午後5時

▶休館日=月曜日、年末年始

※月曜日が休日の場合は火曜日

12月は 「地球温暖化防止月間」

電気、ガス、水道などの無駄をなくして、地球温暖化を防止しましょう。

ふるさと 訪ねある記

45



伝統芸能伝承館 森舞台（登米）

登米地区には、藩政時代から伝わる「登米能」をはじめ「岡谷地南部神楽」や「とよま囃子」など伝統芸能が盛んで、住民の手によって大切に受け継がれています。

その登米地域にある伝統芸能伝承館「森舞台」は、それらの地域文化の活動拠点として平成8年オープンし、本格的な能舞台のほか、けいこ場や展示室などが備えられています。その展示室には、能に用いられる能装束や表情が異なる数種類の能面などをはじめ、登米能に関する資料が展示されています。

また、演能のビデオも見ることで、登米能への知識を、より深められるようになっています。

演能は登米謡曲会が一年を通して練習を続け、毎年6月に行われる新緑薪能と、演目を変えて9月に「とよま秋まつり」の宵祭りでの上演とで、多くの観客を魅了しています。230年の伝統を受け継いでいる登米能は、全国でも珍しいアマチュアの登米謡曲会の皆さんで演じられていて、宮城地域づくり大賞をはじめ、多くの賞に輝いています。

【所在地】 登米市登米町寺池町42番地
【問い合わせ】 伝統芸能伝承館 ☎0220 (52) 3927

石ノ森章太郎ふるさと記念館&教育資料館

ページェント&ライトアップ

淡い光が導く幻想的な世界をお楽しみください。

石ノ森章太郎ふるさと記念館

【期 間】 H20/12月1日(月)～ H21/1月2日(金)
【時 間】 午後5時～10時(クリスマスイブと大晦日はオールナイトで点灯します。)
【場 所】 記念館庭園内(散策は無料)

石ノ森章太郎記念館の冬の風物詩となっている光のページェント。記念館の前庭を主会場に庭木や80歳の小川に青色電球が暗闇に浮かび上がるように彩られます。会場が前庭で車の往来がないため、小さな子どもと一緒にでも安心してお楽しみいただけます。

【問い合わせ】 石ノ森章太郎ふるさと記念館 ☎ 0220(35)1099



教育資料館

【期 間】 12月の毎週土曜日
【時 間】 午後4時～7時
【場 所】 資料館庭園内(散策は無料)

明治時代に建造された木造校舎が光で照らし出され、日中とはまた違った幻想的な雰囲気を楽しめることができます。

【問い合わせ】 (株)とよま振興公社 ☎ 0220(52)5566



歴史博物館

広報ミニ展示室 32

＝ 登米地域の師走の伝統行事 ＝

かつては12月になると1年の締めくくりとして、母親の労をねぎらう「おかの年越し」や権現様を祝いこの日に嫁を実家に帰す「権現様のとしとり」、山の神様を祝った「山の神のとしとり」などの行事が行われていました。おもしろい行事では、使用者が家主から御馳走をしてもらい実家に帰る「ぼんだし餅」、大黒様を大根で祭った「大根の女むかい」などがあります。写真は豊里のお蒼前様。これは馬を祭った神様で12月17日に「馬のとしとり」といって餅をついてお蒼前様に供え、馬にも餅を食べさせたそうです。現在の私たちも家族や周囲の人に感謝をして1年を締めくくりたいものですね。



馬を祭った神「お蒼前様」



「モバイルとめ」もご利用ください。
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービスが新しくなりました。
tome@entry.mail-dpt.jp (携帯用)